平成29年度中間期 会社説明会

平成29年11月29日



ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

代表取締役社長　　庵　栄伸
代表取締役副社長　笹原　晶博

目次

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

・はじめに（プロフィール） ・・・・・ 1

【Ⅰ．平成29年度中間期決算概要】

・中間決算の概要 ・・・・・ 3
・資金利益 ・・・・・ 8
・預金・譲渡性預金 ・・・・・ 9
・貸出金 ・・・・・ 10
・有価証券 ・・・・・ 14
・役務取引等利益 ・・・・・ 15
・経費 ・・・・・ 16
・与信費用 ・・・・・ 17
・金融再生法開示債権 ・・・・・ 18
・自己資本 ・・・・・ 19

【Ⅱ．経営戦略】

・経営戦略のコンセプト ・・・・・ 20
・個人マーケット戦略 ・・・・・ 21
・ほくほくTT証券 ・・・・・ 23
・法人マーケット戦略 ・・・・・ 25
・海外戦略 ・・・・・ 27
・店舗戦略・業務効率化 ・・・・・ 28
・FinTechへの取り組み ・・・・・ 29
・人材育成 ・・・・・ 30
・ESGへの取り組み ・・・・・ 31
・預金・貸出金見通し ・・・・・ 34
・有価証券運用 ・・・・・ 35
・資本政策・業績予想 ・・・・・ 36
・中計項目見通し ・・・・・ 37

【別冊】参考資料

はじめに

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長　庵　栄伸
（北陸銀行　頭取）

取締役副社長　笹原　晶博
（北海道銀行　頭取）

経営理念

地域共栄　：　社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
公正堅実　：　公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
進取創造　：　創造と革新を追及し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

プロフィール　（平成２９年９月末現在）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

設立　　：平成15年
本店所在地　：富山市
資本金　　：708億円
自己資本比率：9.73%
格付　　：A（R&I）



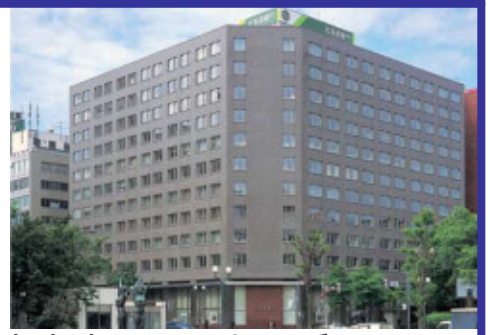
北陸銀行



設立：昭和18年
（創業明治10年）
本店所在地：富山市
店舗数　　：国内187(支店145・出張所42)
　　海外6
従業員数　：2,865人
資本金　　：1,404億円
自己資本比率：9.04%
格付　　：A（R&I）・A-（S&P）



北海道銀行



設立：昭和26年

本店所在地：札幌市
店舗数　　：国内142(本支店136、出張所6)
　　海外3
従業員数　：2,433人
資本金　　：935億円
自己資本比率：9.53%
格付　　：A（R&I）・A（JCR）



Ⅰ．　平成29年度中間期決算概要

中間決算の概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金利息の減少を主因に資金利益が前中間期を下回り、投資信託・保険販売手数料の減少などにより役務取引等利益も減少したことから、2行合算のコア業務粗利益は前中間期比45億円減少しました。

（億円）

【ほくほくFG連結】	29/9期	増減額	期初予想比	28/9期
経常収益	917	△ 21		939
経常利益	180	△ 56	0	237
親会社株主に帰属する中間純利益	111	△ 56	△ 8	167

【2行合算】	29/9期	増減額	期初予想比	28/9期
コア業務粗利益	648	△ 45	△ 16	694
資金利益	567	△ 31		599
役務取引等利益	81	△ 12		93
特定取引利益	0	△ 0		0
その他業務利益(※)	△ 0	△ 1		0
経費（△）(臨時処理分を除く)	445	△ 0	△ 19	445
コア業務純益	203	△ 45	3	248
国債等債券損益	△ 22	△ 24		2
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	180	△ 70		250
一般貸倒引当金繰入（△）	10	10		－
業務純益	170	△ 80		250
臨時損益	20	34		△ 13
うち不良債権処理額（△）	13	25		△ 11
うち株式等損益	37	52		△ 14
経常利益	191	△ 46	6	237
特別損益	△ 12	△ 9		△ 2
法人税等（△）	53	△ 8		62
中間純利益	125	△ 47	△ 4	172
（参考）与信費用	23	35	3	△ 11

※その他業務利益：国債等債券損益を除く

決算のポイント

資金利益

利回りの低下による貸出金利息の減少を主因に前中間期比31億円減少。

役務取引等利益

投資信託・保険販売手数料減少とローン保証料・保険料支払増加により前中間期比12億円減少。

有価証券損益

外国債券の売却損を主因に国債等債券損益は△22億円となったが、株式等損益は37億円と増加。

与信費用

前中間期は11億円の戻り益であったが、今期は貸倒金の増加により23億円を費用計上。

【連単差の内訳】（億円）

	29/9期	増減額	28/9期
差額	△ 14	△ 9	△ 4
子会社利益	9	△ 3	12
のれん償却	△ 10	－	△ 10
パーチェス調整	△ 2	△ 2	△ 0
その他	△ 10	△ 3	△ 6

中間決算の概要（北陸銀行・北海道銀行）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（億円）

	【北陸銀行】				【北海道銀行】			
	29/9期	増減額	期初予想比	28/9期	29/9期	増減額	期初予想比	28/9期
コア業務粗利益	353	△ 14	△ 1	368	296	△ 28	△ 13	325
資金利益	304	△ 11		315	265	△ 18		283
役務取引等利益	44	△ 2		47	36	△ 9		45
特定取引利益	0	△ 0		0	－	―		－
その他業務利益（※）	4	△ 0		4	△ 5	△ 1		△ 3
経費（△）（臨時処理分を除く）	238	△ 0	△ 6	238	206	△ 0	△ 13	207
コア業務純益	115	△ 14	4	129	90	△ 28	0	118
国債等債券損益	△ 14	△ 17		2	△ 9	△ 9		0
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	100	△ 31		131	80	△ 38		118
一般貸倒引当金繰入（△）	9	9		－	0	0		－
業務純益	90	△ 41		131	80	△ 38		118
臨時損益	18	5		13	2	28		△ 26
うち不良債権処理額（△）	7	18		△ 10	6	6		△ 0
うち株式等損益	23	19		3	14	32		△ 18
経常利益	108	△ 36	△ 1	145	82	△ 9	7	92
特別損益	△ 10	△ 8		△ 1	△ 1	△ 0		△ 1
法人税等（△）	32	△ 3		36	21	△ 4		25
中間純利益	65	△ 41	△ 9	107	59	△ 5	4	65
(参考)与信費用	17	28	7	△ 10	6	7	△ 3	△ 0

※その他業務利益：国債等債券損益を除く

【北陸銀行】
コア業務純益 115億円 （28/9期比△14億円）
…資金利益の減少、役務取引等利益の減少
経常利益 108億円 （28/9期比△36億円）
…株式等損益の増加、与信費用の増加

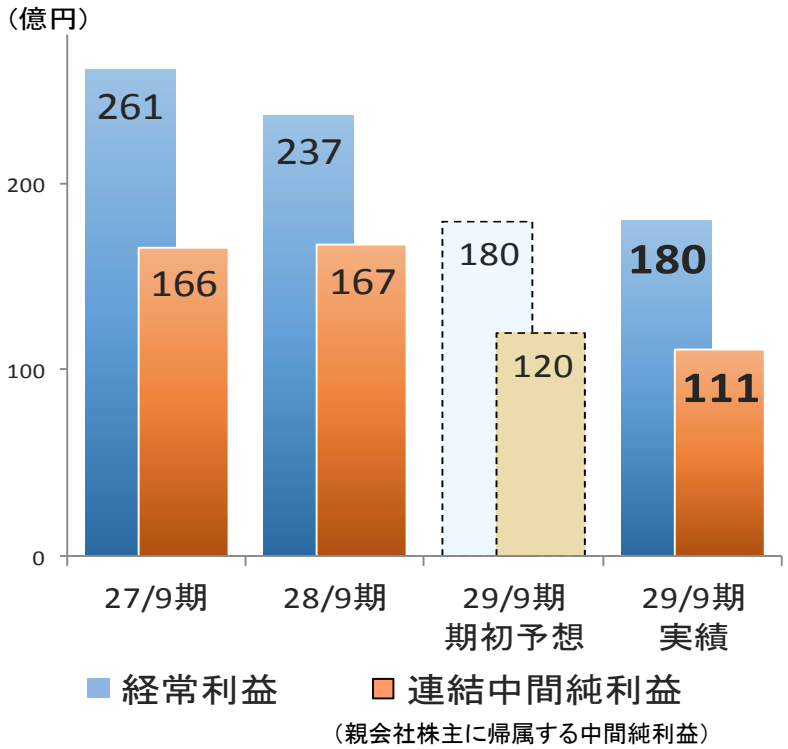
【北海道銀行】
コア業務純益 90億円 （28/9期比△28億円）
…資金利益の減少、役務取引等利益の減少
経常利益 82億円 （28/9期比△9億円）
…株式等損益の増加、与信費用の増加

中間決算の概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

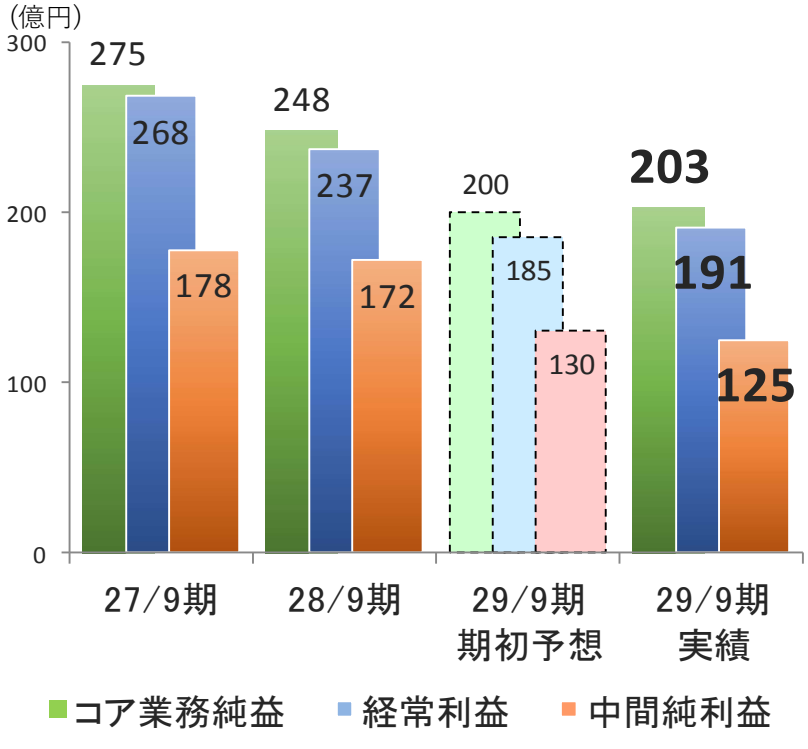
連結経常利益は、前中間期を下回ったものの業績予想の180億円を確保することができました。

損益＜フィナンシャルグループ連結＞



連結経常利益 **180億円**（28/9期比△56億円）
連結中間純利益 **111億円**（28/9期比△56億円）

損益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



コア業務純益 **203億円**（28/9期比△45億円）
経常利益 **191億円**（28/9期比△46億円）
中間純利益 **125億円**（28/9期比△47億円）

中間決算の概要（コア業務純益増減要因）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

コア業務純益は、貸出金利回りの低下要因が大きく、前中間期比45億円減少の203億円となりましたが、期初予想に対しては経費抑制等により+3億円の実績となりました。

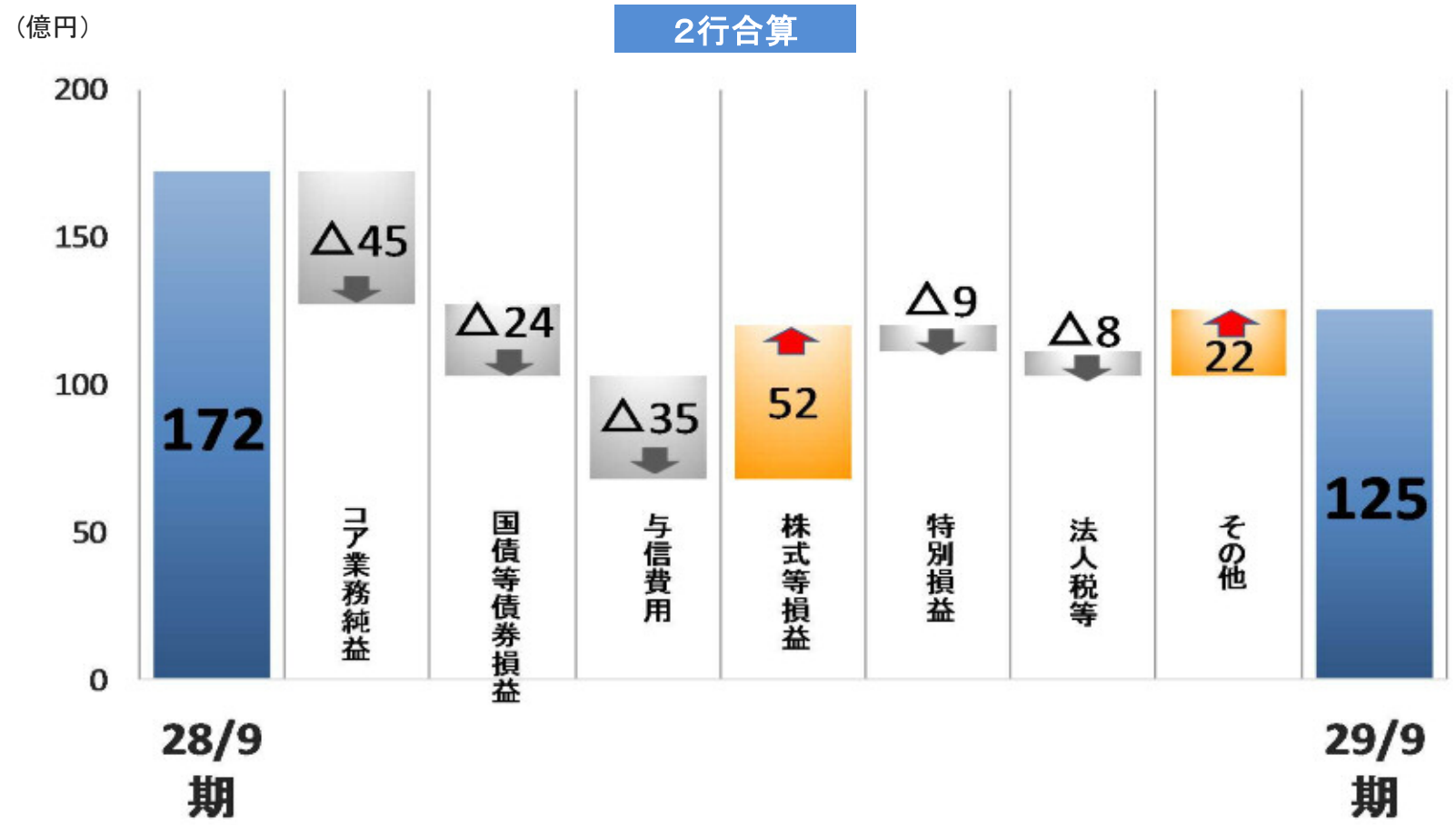


中間決算の概要（中間純利益増減要因）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

中間純利益は、コア業務純益の減少分を株式等損益の増加で補ったものの、国債等債券損益の減少や与信費用の増加により、前中間期比47億円減少の125億円となりました。

中間純利益増減要因



資金利益

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金利息は、平均残高が増加しましたが利回りの低下が続き、前中間期比17億円減少
資金利益は、貸出金利息の減少を預金利息の減少でカバーできず、前中間期比31億円減少

資 金 利 益

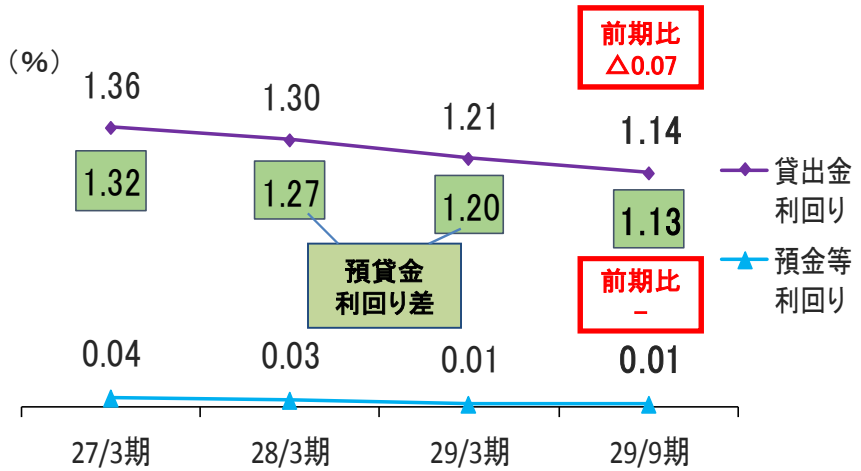
（億円）

【2行合算】	29/9期	増減額	28/9期
資金利益	567	△ 31	599
貸出金	450	△ 17	468
有価証券	139	△ 5	144
うち投信解約分配金	0	△ 14	14
預金・NCD（△）	8	△ 1	9

〈利息増減要因〉

（億円）

【2行合算】	平残要因	利回要因
貸出金	13	△ 31
有価証券	△ 8	3
預金・NCD（△）	0	△ 2



（億円）

【2行合算】		29/9期	増減額	28/9期
貸出金	平均残高	78,356	2,255	76,101
	利回り	1.14%	△0.08%	1.22%
有価証券	平均残高	22,077	△ 1,352	23,430
	利回り	1.26%	0.03%	1.23%
預金・NCD	平均残高	109,501	3,537	105,963
	利回り	0.01%	－	0.01%

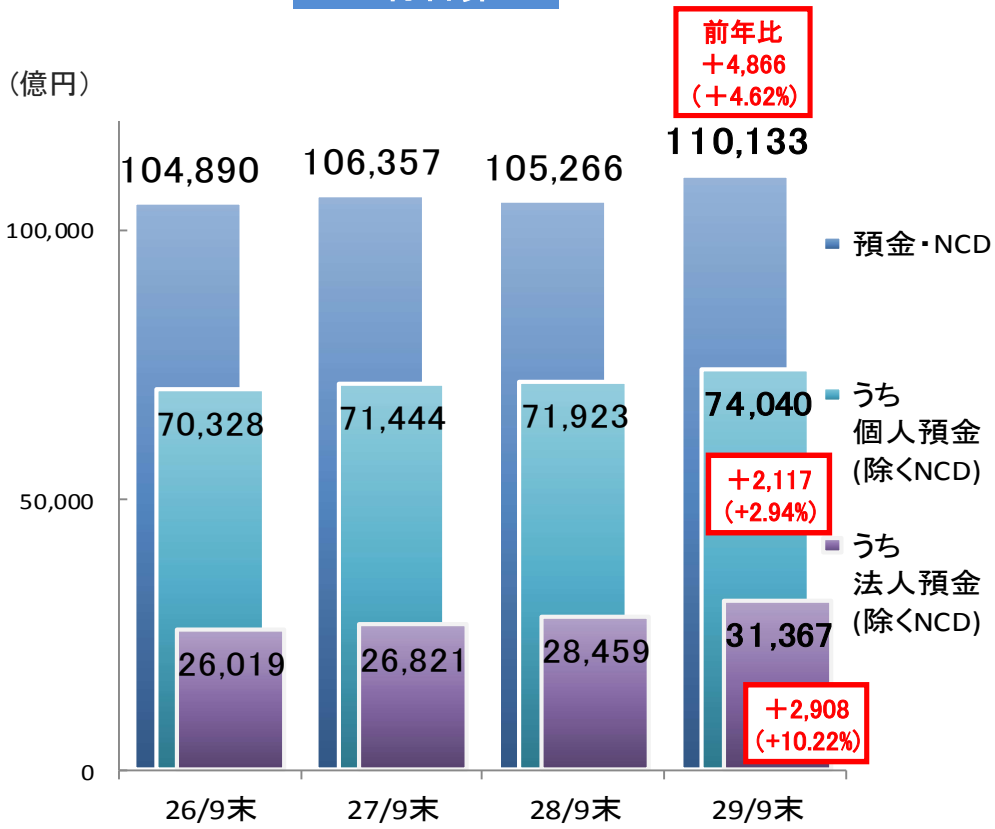
預金・譲渡性預金

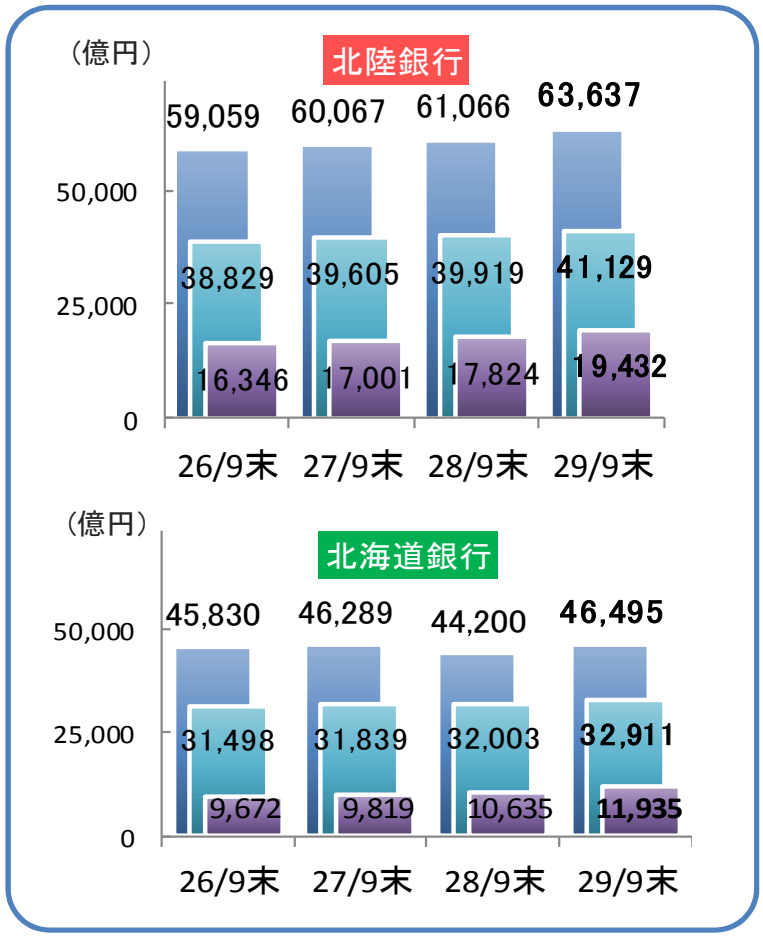
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

預金残高は、個人預金・法人預金とも増加し、前中間期末比4,866億円増加の11兆133億円となりました。

預 金 ・ N C D 残 高

2行合算



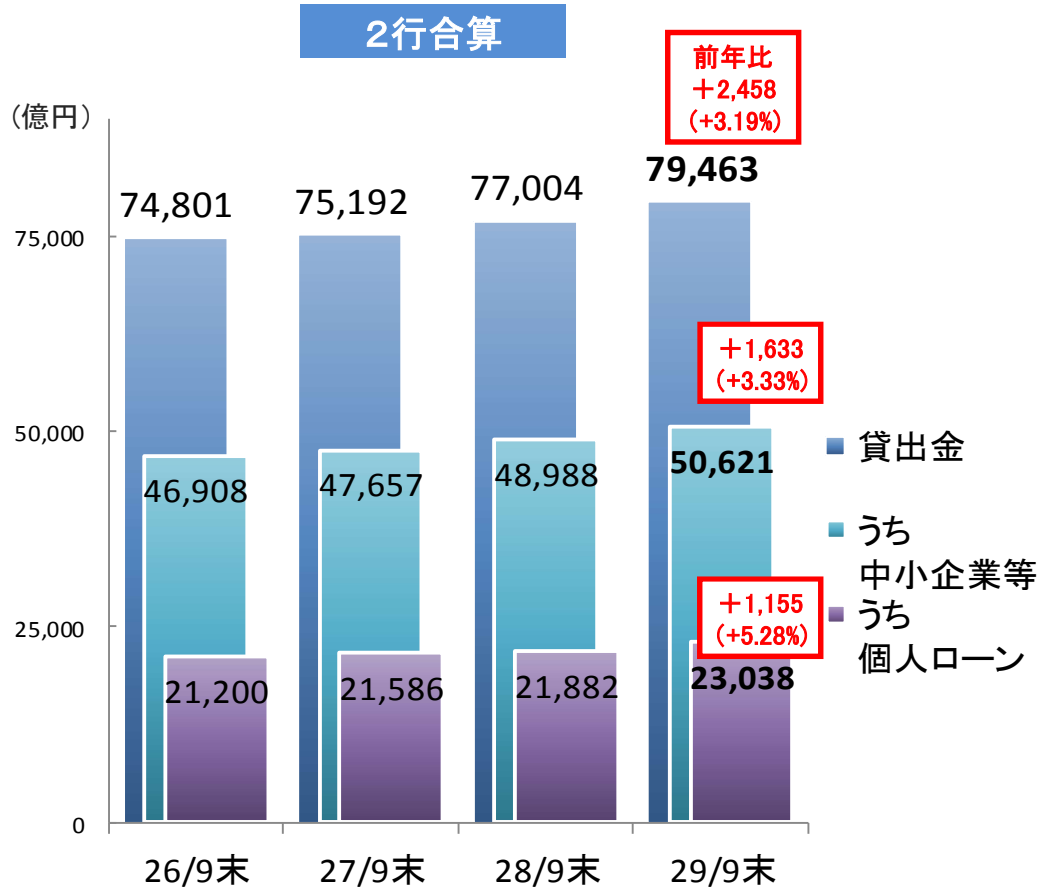


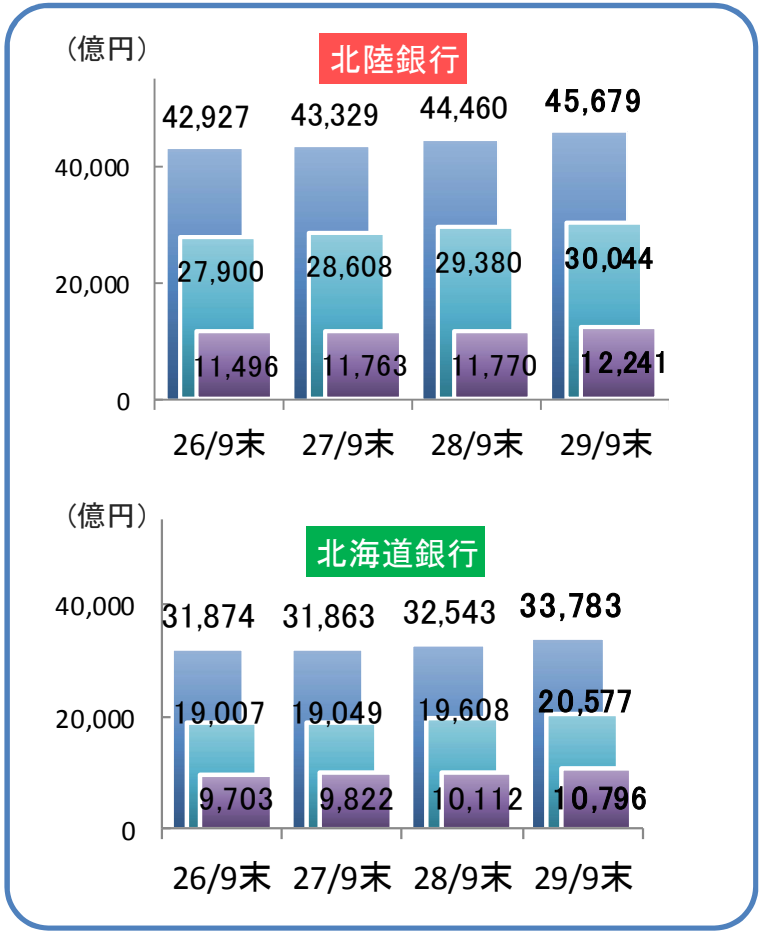
貸出金

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

貸出金残高は、事業性貸出・個人ローン・公金貸出の各マーケットで積上げ、前中間期末比2,458億円増加の7兆9,463億円となりました。

貸 出 金 残 高



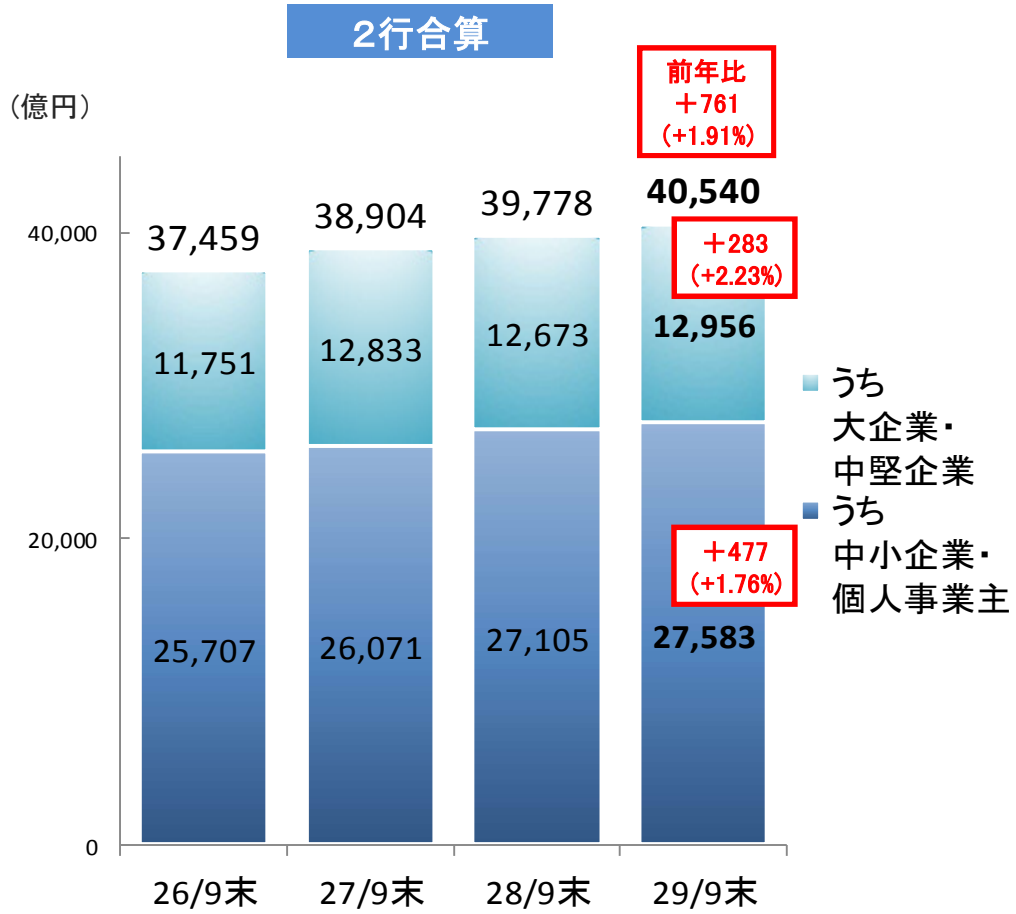


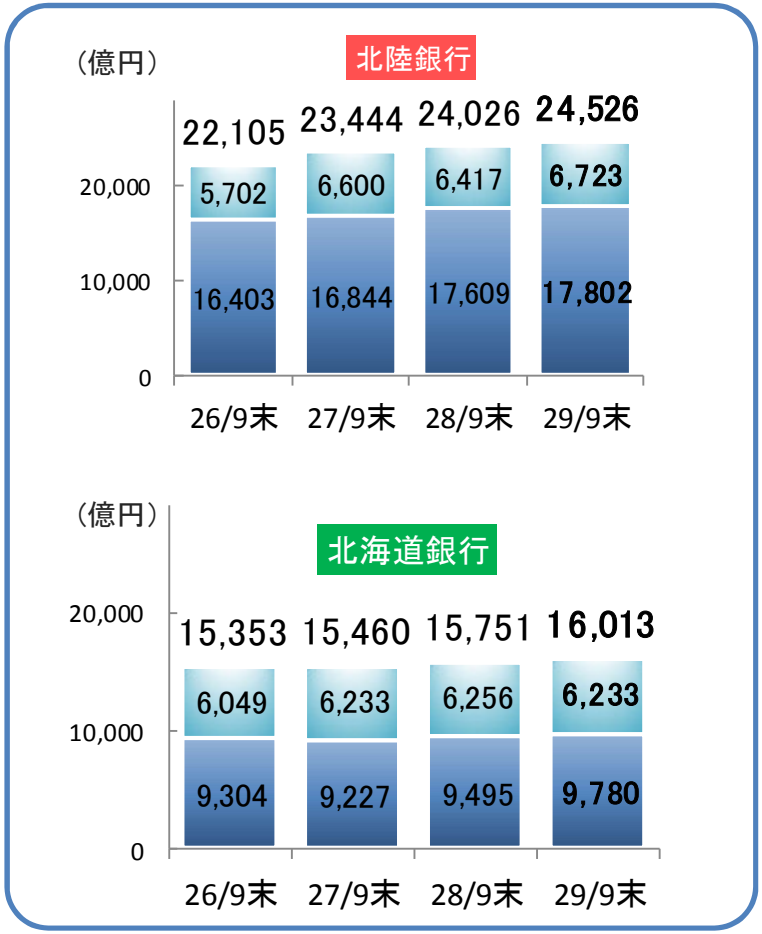
貸出金（事業性）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

事業性貸出は、地元企業との接点強化を図り、中小企業・個人事業主向け貸出を中心に積極的に推進した結果、前中間期末比761億円増加の4兆540億円となりました。

事業性貸出残高



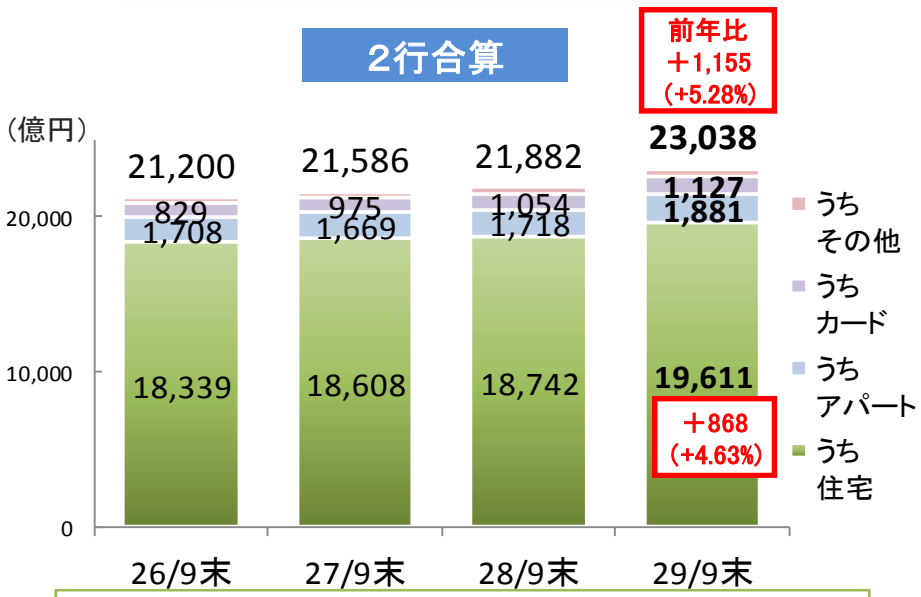


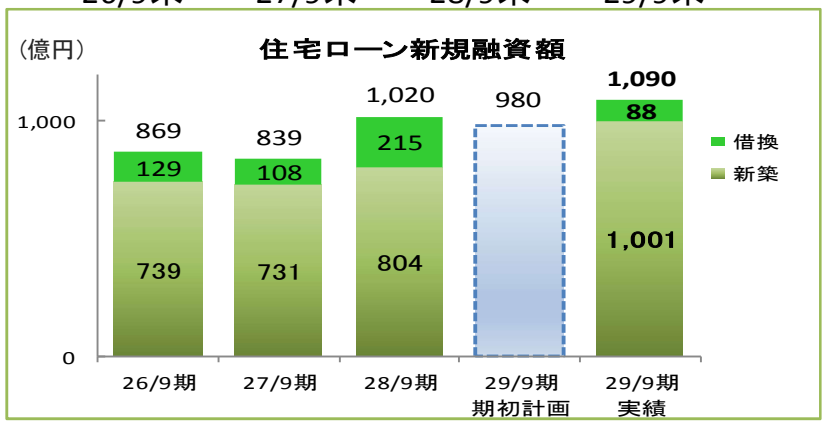
貸出金（個人ローン）

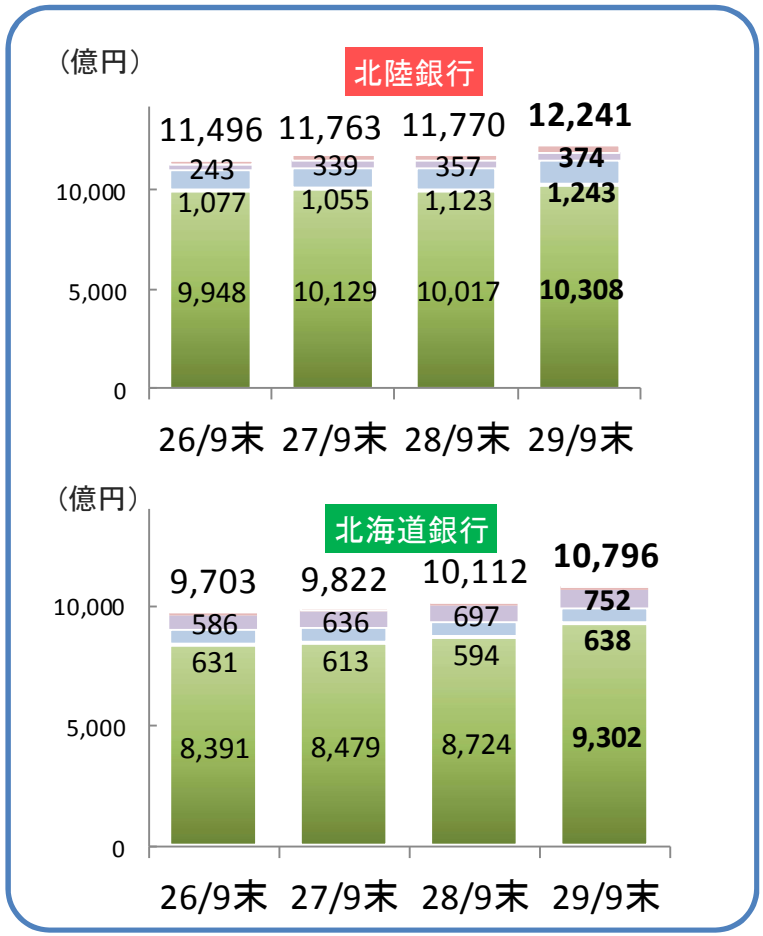
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

個人ローンは、住宅ローンを積極的に推進した結果、前中間期末比1,155億円増加の2兆3,038億円となりました。

個人ローン残高





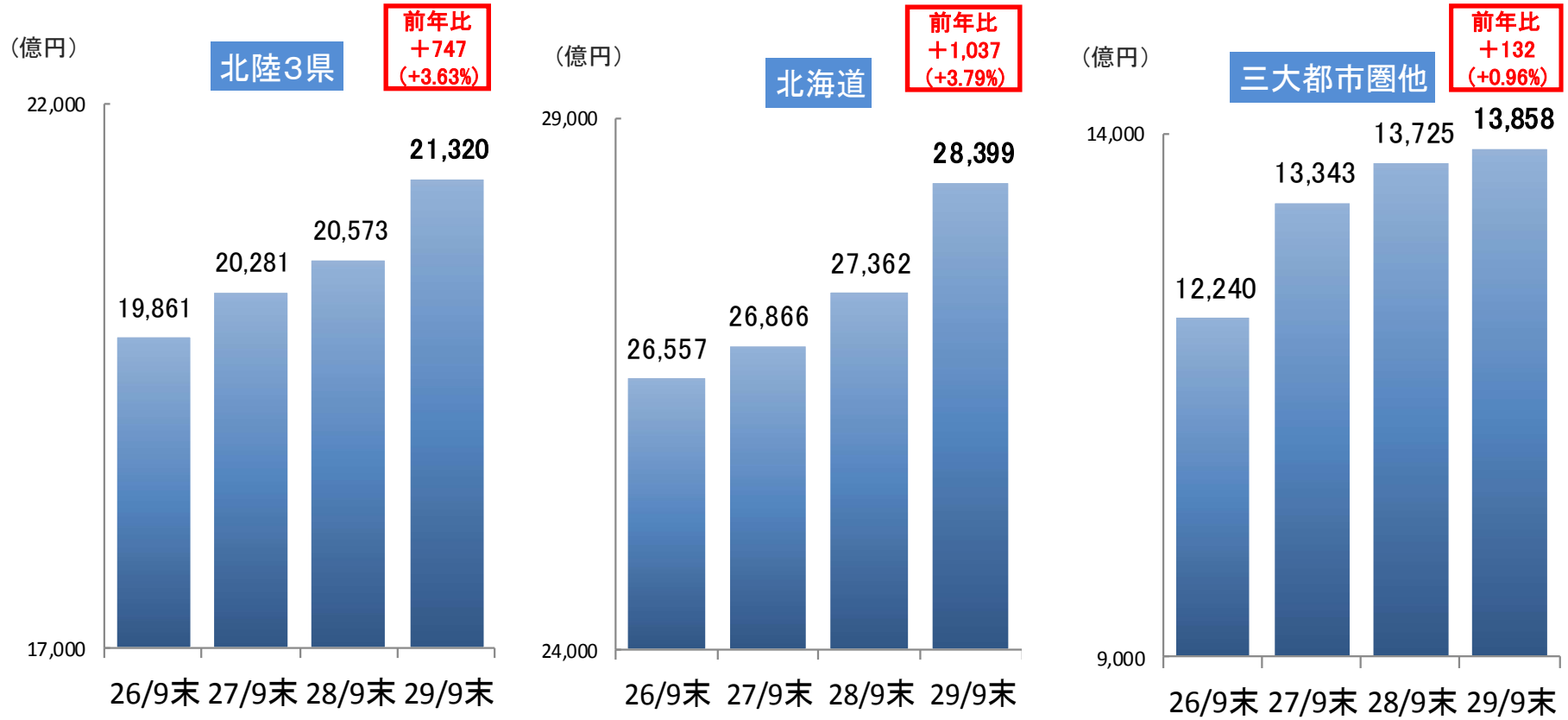


貸出金（地域別）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

当社グループは、主要営業地域である北陸（富山県・石川県・福井県）・北海道に309カ店を展開している他、首都圏を中心に他地域でも20カ店を展開し、各地域で貸出金の積上げを図っています。

貸 出 金 （ 地域別 ） 残 高 （公金貸出を除く）

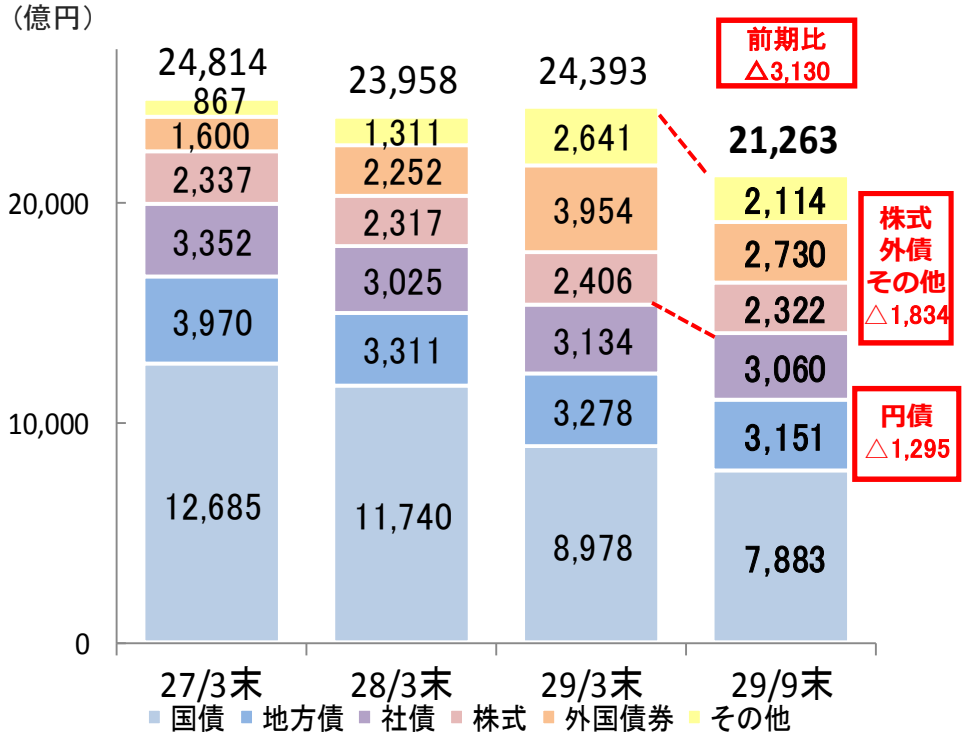


有価証券

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

有価証券残高は、円債の新規購入を抑制したことに加え、外国債券や投資信託を主とするその他の残高も圧縮し、前期末比3,130億円減少の2兆1,263億円となりました。評価損益は、円債の償還分の減少を、株式の評価益増加および外債の評価損減少によりカバーし前期末比110億円増加の1,241億円の評価益となりました。

有 価 証 券 残 高



円債デュレーション （2行合算）

27/3末	28/3末	29/3末	29/9末
3.05年	2.92年	3.14年	**3.12年**

※ヘッジ考慮後

その他有価証券の評価損益

（億円）

【2行合算】	29/9末	増減額	29/3末
その他有価証券	1,241	110	1,130
株式	1,039	69	970
債券	226	△ 50	276
その他	△ 25	91	△ 116

円債残高・利回り・金利リスク

（億円）

【2行合算】	29/9期	増減額	29/3期
円貨債券残高	14,096	△ 1,295	15,391
うち変動利付国債	2,431	△ 294	2,726
期中平均利回り	0.68%	0.01%	0.67%
VaR	122	△ 10	132

役務取引等利益

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

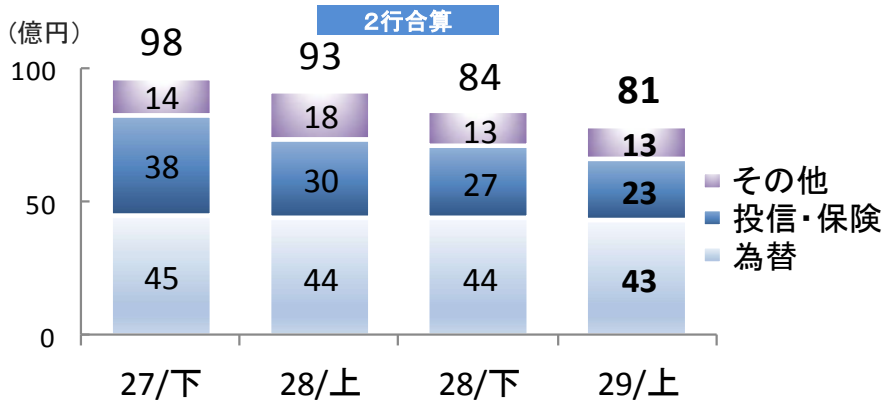
役務取引等利益は、投資信託・保険手数料の減少およびローン保険料・保証料の増加により、前中間期比12億円減少となりました。

非 金 利 収 入

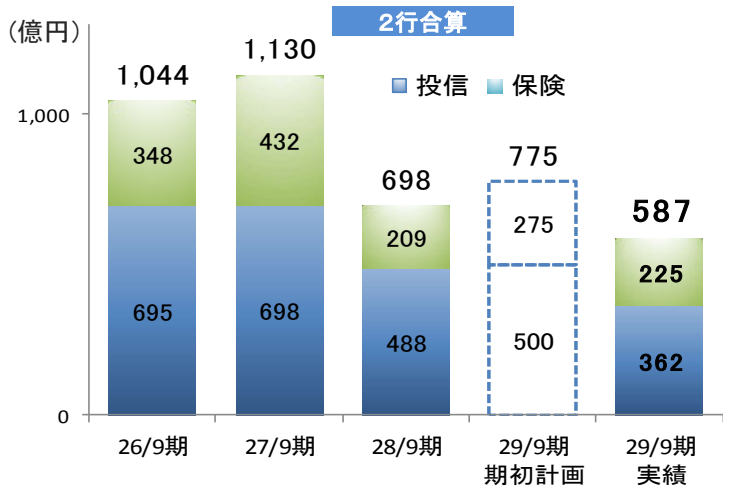
（億円）

【2行合算】	29/9期	増減額	28/9期
(1) 役務取引等利益	81	△ 12	93
役務取引等収益	164	△ 6	170
うち受入為替手数料	52	△ 0	53
うち投資信託手数料	15	△ 2	18
うち保険手数料	8	△ 4	12
役務取引等費用(△)	82	5	76
うち支払為替手数料(△)	9	0	9
うちローン保険料・保証料(△)	54	6	48
(2) 特定取引利益	0	△ 0	0
(3) その他業務利益(除く5勘定尻)	△ 0	△ 1	0
うち外為売買損益	△ 0	△ 1	0
うち金融派生商品収益	0	0	0
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	81	△ 13	94
(5) コア業務粗利益	648	△ 45	694
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	12.50%	△1.15%	13.65%

役 務 取 引 等 利 益



投資信託・保険　販売額

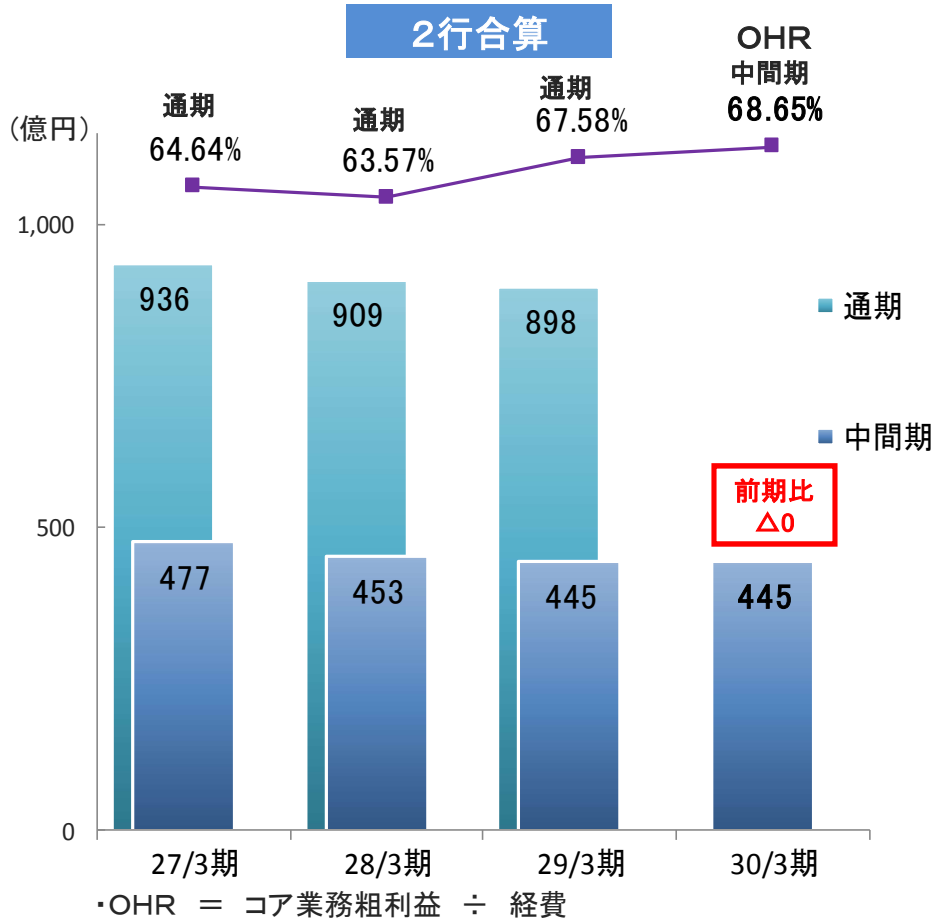


経費

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

経費は、物件費、税金がやや増加しましたが、人件費の減少によりカバーし、前中間期比△0億円の445億円となりました。OHRは、コア業務粗利益の減少により前期比1.07ポイント上昇しました。

経 費 ・ O H R



・OHR ＝ コア業務粗利益 ÷ 経費

増 減 要 因

(億円)

【2行合算】	29/9期	増減額	28/9期
人件費	216	△ 2	218
物件費	195	0	195
税金	33	0	32
経費	445	△ 0	445

従 業 員 数

(人)

【2行合算】	29/9末	増減額	28/9末
正社員	5,298	56	5,242
スタッフ	2,965	△ 97	3,062

・正社員数は嘱託、パート、派遣社員を除く
・スタッフ数＝嘱託＋契約＋臨時＋派遣・直接雇用パート

与信費用

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

与信費用は、前中間期比35億円増加の23億円（前中間期は11億円の戻り益）となりましたが、依然として低水準であり、取引先の業況は安定的に推移しています。

与 信 費 用 要 因

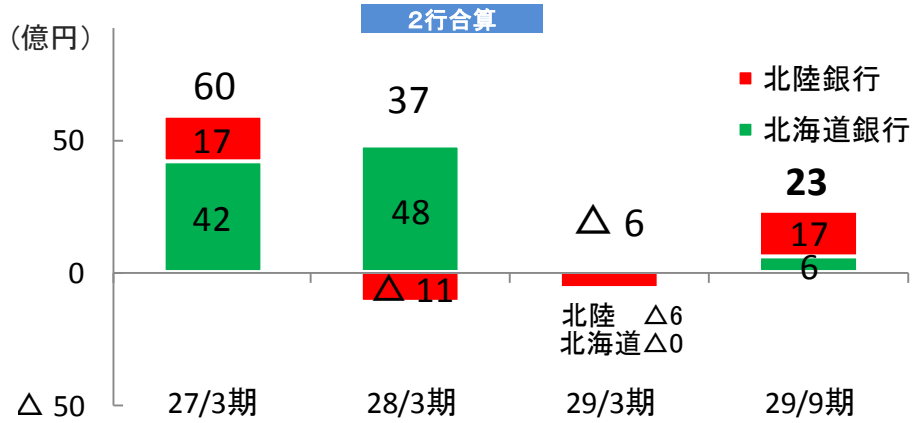
（億円）

【2行合算】	29/9期	増減額	28/9期
与信費用	23	35	△ 11
一般貸倒引当金繰入	10	10	－
不良債権処理額	13	25	△ 11

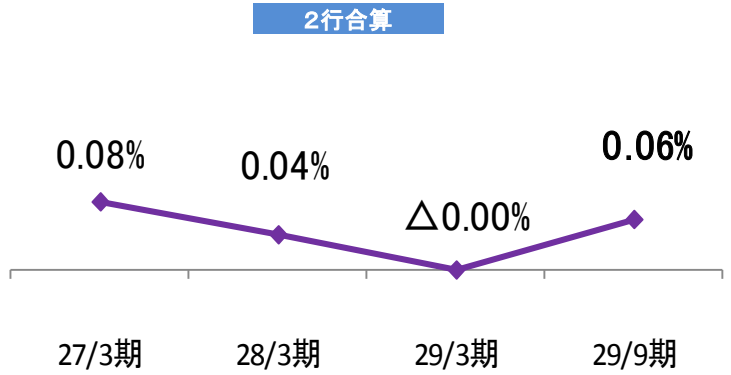
〈不良債権処理額発生要因〉 （億円）

	29/9期	前年比	28/9期
債務者区分悪化	45	16	29
債務者区分改善	△ 14	△ 6	△ 7
地価下落	2	△ 1	3
その他回収等	△ 19	17	△ 36

与 信 費 用



与 信 費 用 比 率



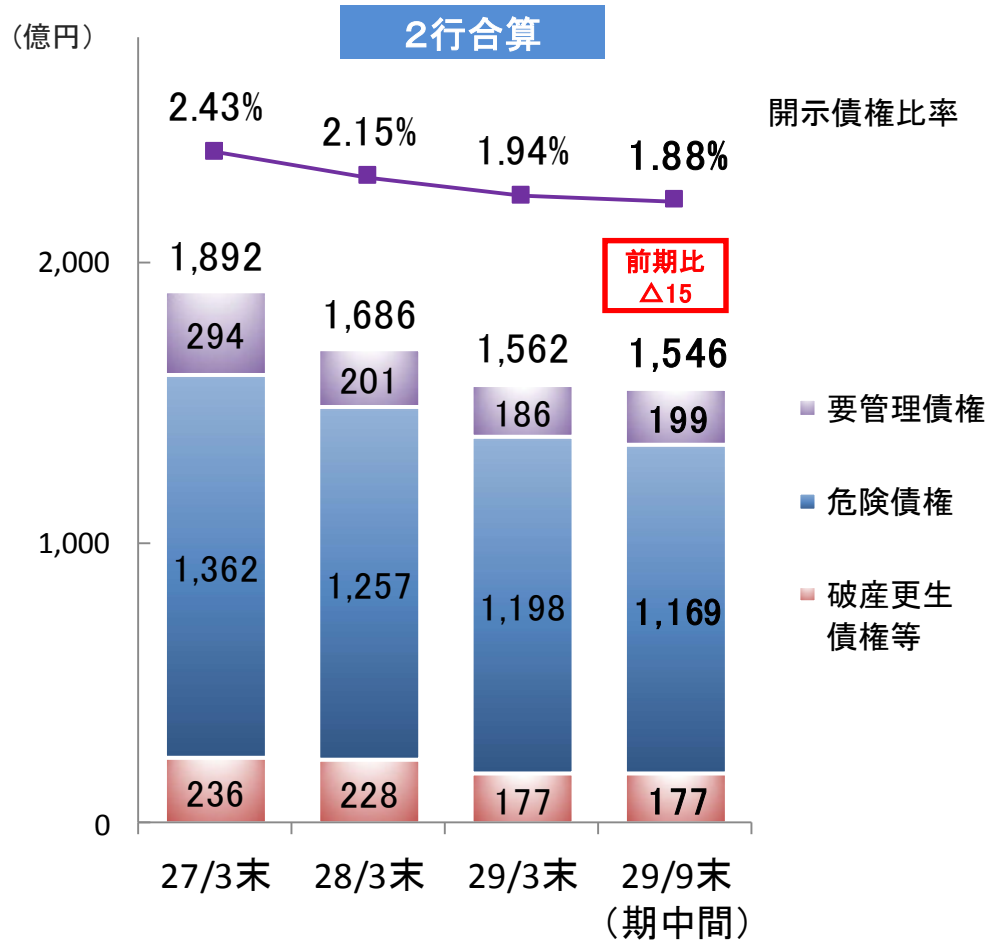
与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残

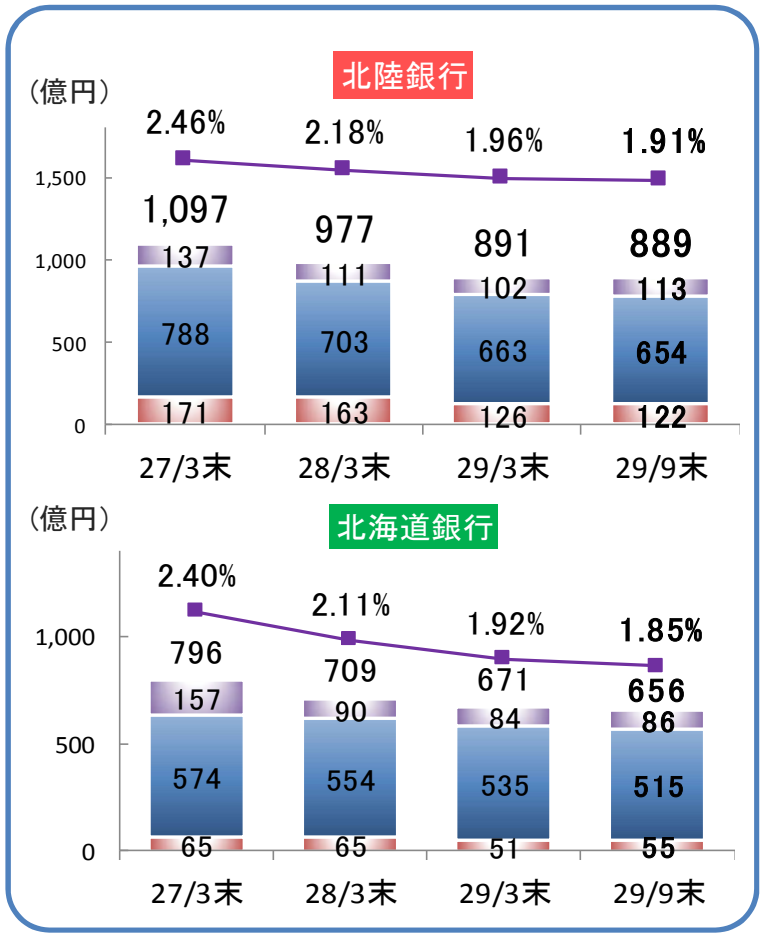
金融再生法開示債権

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

金融再生法開示債権残高は、前期末比15億円減少の1,546億円、同比率は0.06ポイント改善の1.88%となりました。

金 融 再 生 法 開 示 債 権





自己資本

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

自己資本比率は、利益剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、前期末比0.30ポイント上昇し9.73%となりました。

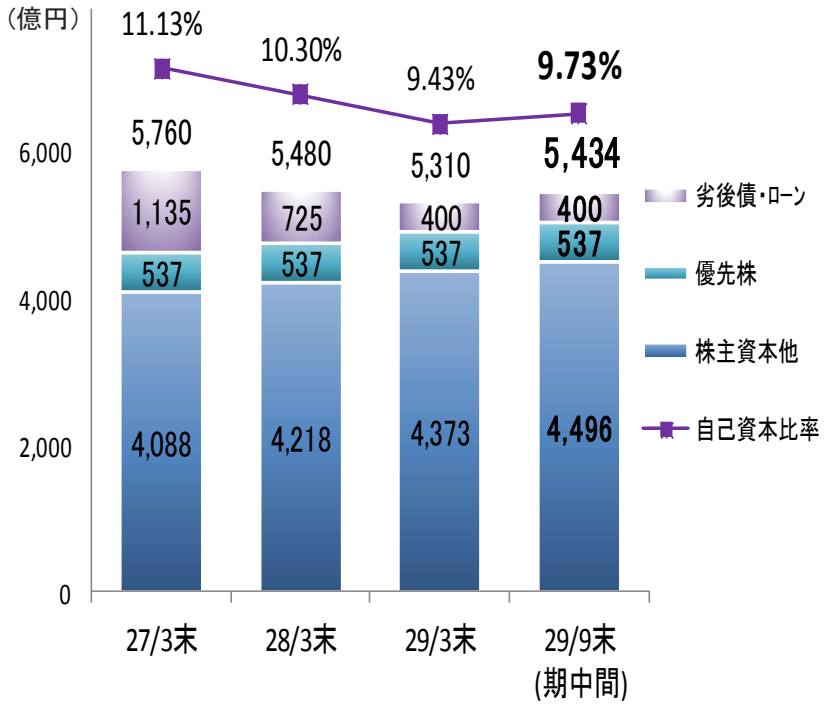
自 己 資 本 ・ リ ス ク ア セ ッ ト

〈バーゼルⅢ国内基準〉

（億円）

【FG連結】	経過措置適用			完全実施（試算）
	29/9末	増減額	29/3末	29/9末
自己資本	**5,434**	123	5,310	4,383
基礎項目	**5,621**	116	5,505	4,598
調整項目（△）	**187**	△ 6	194	215
リスクアセット	**55,846**	△ 462	56,309	55,689
自己資本比率	**9.73%**	0.30%	9.43%	7.87%

自 己 資 本 比 率



ROE

25/3	26/3	27/3	28/3	29/3	29/9
4.0%	5.8%	5.5%	5.3%	5.1%	**3.8%**

Ⅱ. 経 営 戦 略

経営戦略のコンセプト

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

経営戦略のコンセプト



「営業力の強化」と「経営の効率化」を
両輪とする安定的収益基盤の確保

営業力の強化

個人マーケット戦略 （P21～P24）	預かり資産…お客さまの資産形成に貢献 住宅ローン…お客さまとの長期的な取引を獲得	⇒ 生涯取引獲得による長期的な収益源の確保
法人マーケット戦略 （P25～P27）	ソリューション営業…各種提案を切り口に取引深化 本業支援…ライフステージに応じたサポートの実施	⇒ 低金利競争からの脱却、コンサルフィーの獲得

経営の効率化

経営資源の創出 （P28～P29）	営業店の事務効率化…営業店後方事務の集中化 渉外業務の効率化…タブレット端末の活用	⇒ 業務集約や効率化による人員体制見直し
経営資源の再配分 （P28、P30）	店舗・設備計画…エリア営業体制、新営業店端末 人材育成…コンサル能力の発揮	⇒ 重点分野への経営資源の再配分

個人マーケット戦略（住宅ローン）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

住宅ローン相談会や業者様との連携強化により、住宅ローンの更なる積み上げを図ります。
～住宅ローンプラザやインターネットを活用し商品を積極的にアピール

方針・施策

◆住宅ローンプラザ、休日ローン相談会による積極的アプローチ
→　ローンプラザを中心に住宅業者様との連携強化を図るとともに、休日ローン相談会によりお客さまとの接点強化を図り、他行シェアを奪取

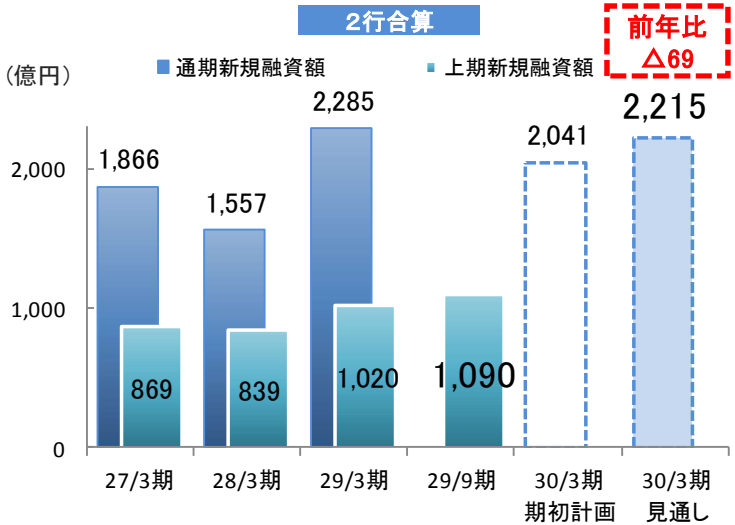
事例	内容
休日ローン相談会	• 休日ローン相談会を複数回開催することにより、お客さまとの接点を強化
住宅ローン団信の充実（北海道29/5、北陸29/10）	• 団信の加入年齢を引き上げ（51歳未満→71歳未満）。また、北海道銀行は、「ガン先進医療保障特約」「上皮内ガン・皮膚ガン保障特約」を追加
インターネットの活用	• インターネットでの住宅ローン申し込みや一部繰上返済機能などの手続きを順次導入しており、今後も利便性向上を図る



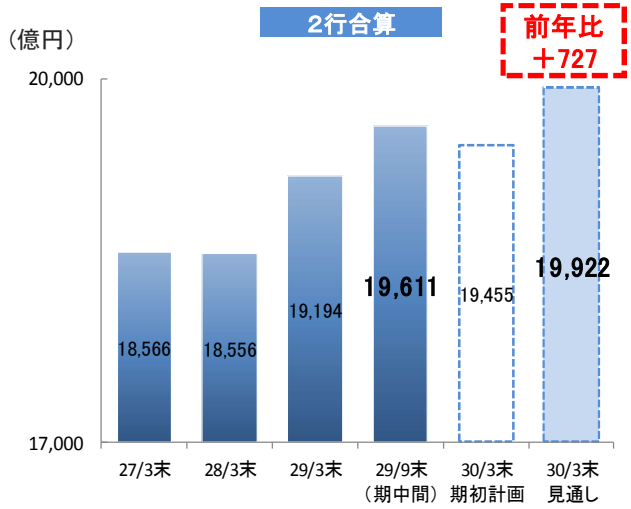
住宅ローンプラザ

北陸銀行	ほくぎんローンプラザ49カ店（うち21カ店で休日営業）
北海道銀行	道銀住宅ローンプラザ12カ店（うち2カ店で休日営業）

住宅ローン　新規融資額



住宅ローン　残高





個人マーケット戦略（預かり資産）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お客さまの視点に立った預かり資産の販売を行い、お客さまの資産形成をサポートします。
～「顧客本位の業務運営に関する原則」を踏まえた販売活動の定着

方針・施策

◆お客さまが安心して長期保有できる商品の推奨
→　iDeCo、積立型投信、コアファンドによるお客さま層の拡大
◆お客さまにふさわしいサービスの提供
→　休日営業拠点（保険プラザ、ドリームセンター）による接点強化

事例	内容
タブレット端末を利用した投資信託取引申込受付開始（29/5～6）	• 「金融商品販売支援システム(iTO)」「ポートフォリオ提案ツール」を稼働開始し、付加価値のある提案、申込書類の削減を実現
iDeCoセミナーの開催	• 職域iDeCoセミナー、支店長iDeCoセミナーの開催。公務員の給与振込明細へのiDeCo広告掲載

保険販売（休日営業拠点）

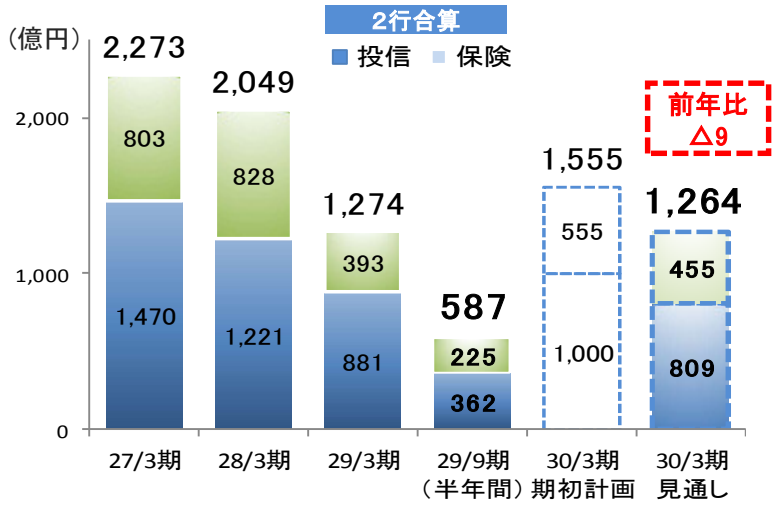
北陸銀行	ドリームセンター（かけお、金沢中央）
北海道銀行	保険プラザ大通

（百先）

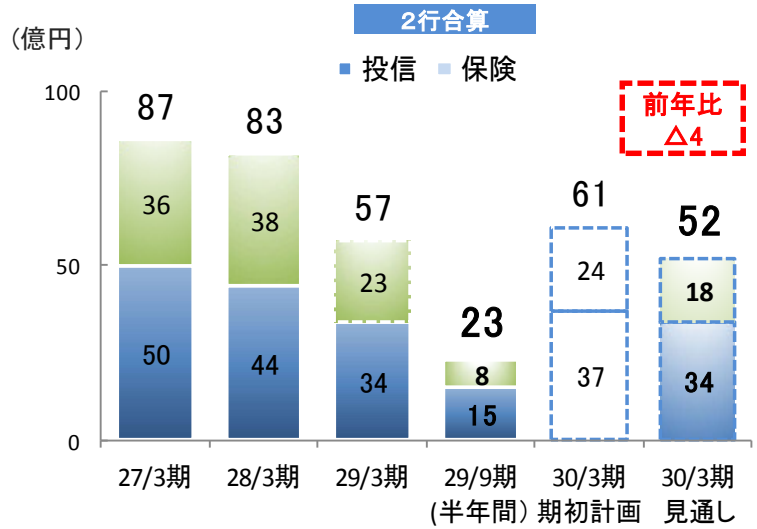
【2行合算】	29/9末	増減	29/3末
積立型投信　契約者数	198	40	157
NISA利用者数	585	32	552
確定拠出年金加入者数	369	50	318

積立型の商品の提案により、お客さま層が着実に拡大

投資信託・保険　販売額



投資信託・保険　収益額



ほくほくＴＴ証券

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスを実施します。
～幅広いニーズに対応した商品の提供により預かり資産を増強

方針・施策

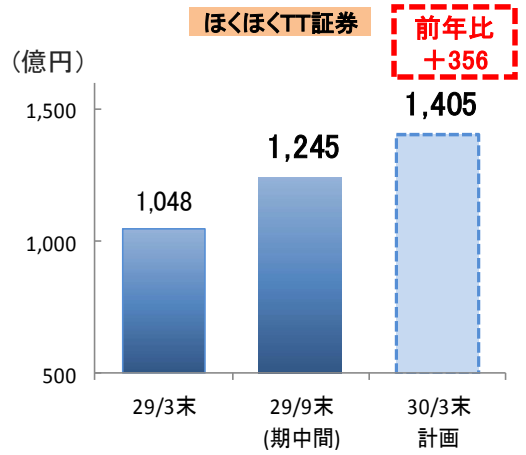
◆新規出店による更なる顧客基盤の拡大
→　旭川支店（29年12月）、福井支店（30年2月）の開設
◆顧客本位の営業体制の確立
→　投資勧誘ガイドラインに沿った営業姿勢の徹底、つみたてNISA活用などにより、中長期運用の選択肢を増やし幅広いニーズに対応

事例	内容
お客さま向けセミナーの開催	• 29年度上期は「ほくほくＴＴ証券単独開催セミナー」19回、「北陸銀行・北海道銀行のお客さま向けセミナー」を8回開催
ほくほくＴＴダイレクトの活用（インターネット）	• ほくほくＴＴダイレクトを契約したお客さまは無料でQUICK投資情報が利用可能に。ほくほくＴＴダイレクト株式等売買手数料優遇キャンペーンを実施し、サービス浸透を図る



＜銀行・保険・証券のワンストップサービス拠点＞
「ほくほくTT証券札幌営業部」「道銀住宅ローンプラザ大通」「どうぎん保険プラザ大通」を併設。隣接する北海道銀行本店を含め、金融のワンストップサービス拠点を北海道内に本店を置く金融機関で初めて開設。

預かり資産残高



開設予定店舗



＜旭川支店＞ 29.12.4 開設予定



＜福井支店＞ 30.2.5 開設予定

個人マーケット戦略（商品・サービス）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お客さまのニーズに対応した商品・サービスの提供により、間口拡大を図ります。また、お客さまのライフステージに応じた情報提供のご案内に努めます。

方針・施策

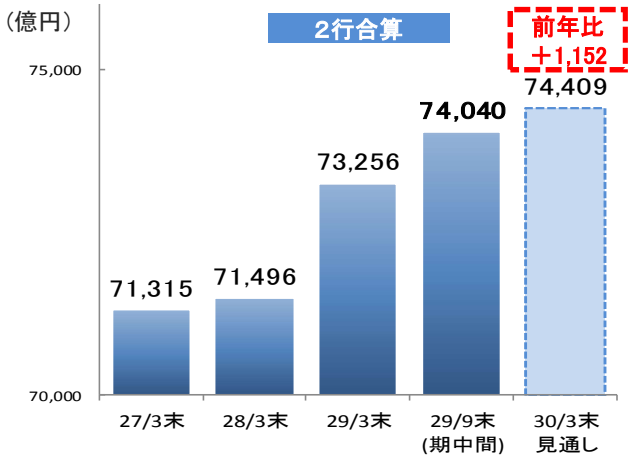
◆お客さまのニーズに対応した商品・サービスの提供
→　ＡＴＭやインターネットの活用による間口拡大
◆関心が高まっている相続に関するサポート機能強化
→　相続セミナー開催によりお役に立つ情報の提供を図る

事例	内容
WebATM	• ATM画面で商品ＣＭや特殊詐欺防止の注意喚起を開始しており、今後商品プロモーションの拡大を予定
JCBデビットカード、Visaデビットカード	• 北陸銀行ではJCB（29/2）、Visa（29/5）、北海道銀行ではVisa（29/10）のデビットカードの取扱を開始
相続セミナー	• 相続セミナーを各店で開催し、相続に対する疑問点を解消できるようバックアップ体制を構築



＜新ATM画面＞
視認性の高いユニバーサルデザインを採用。
商品プロモーションも拡大可能に

個人預金残高







＜支店長を講師としたセミナー開催＞





法人マーケット戦略（ソリューション営業）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お取引先の経営課題やライフステージに応じた最適な提案ができるように、本部・営業店が一体となったソリューション営業を展開しています。

方針・施策

◆お取引先の多様なニーズに対応した営業力の強化
→　お取引先との深度ある対話を通じ、ファイナンスやアドバイザリーを実現
◆創業支援、事業承継、ビジネスマッチングなどのコンサル営業
→　セミナーや商談会実施により地域企業の活性化をサポート

事例	内容
東証との連携協定（29/7）	• 北陸銀行、北海道銀行が東京証券取引所と資本市場の活用等による地域活性化についての連携協定を締結
ほくりく創業応援ハーモニー（29/2）	• 北陸銀行は、日本政策金融公庫と連携し、北陸３県の創業者向け協調支援ユニット「ほくりく創業応援ハーモニー」を取扱開始

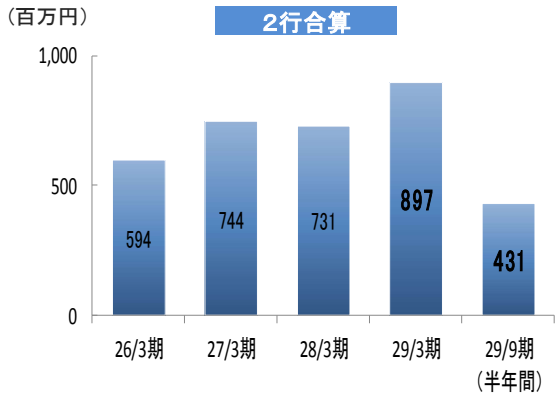




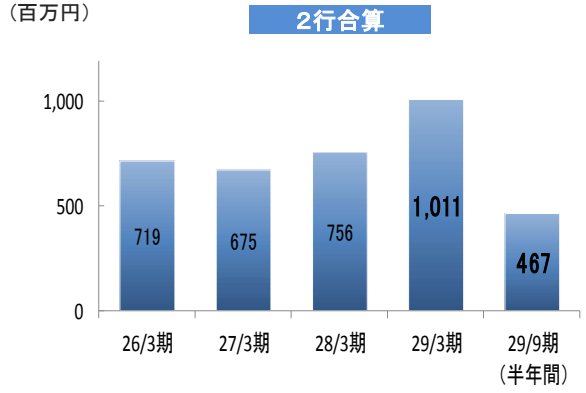


＜日本M&Aセンターの「バンクオブザイヤー」受賞＞
北陸銀行はM&Aに関する業務提携先である㈱日本M&Aセンターより「バンクオブザイヤー」「地域貢献大賞」を受賞。「バンクオブザイヤー」は平成28年度内に最も多くの成約実績があった提携金融機関１行に授与されるもので、北陸銀行は2年連続、通算3度目の受賞。

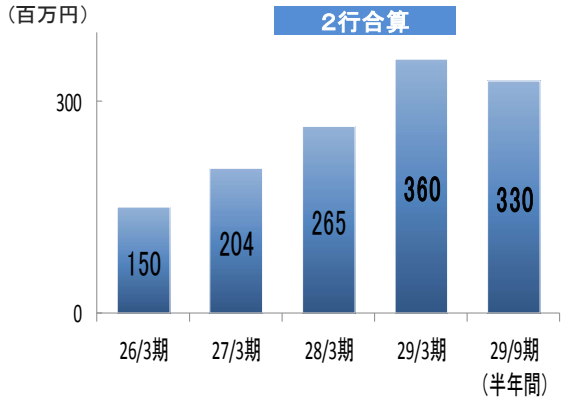
私募債（収入）



シンジケートローン（収入）



M&A（収入）



法人マーケット戦略（本業支援）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

地域経済に強みを持つ産業や成長が見込まれる産業に対し、本部・営業店が一体となりサポートをする体制を構築しています。

方針・施策

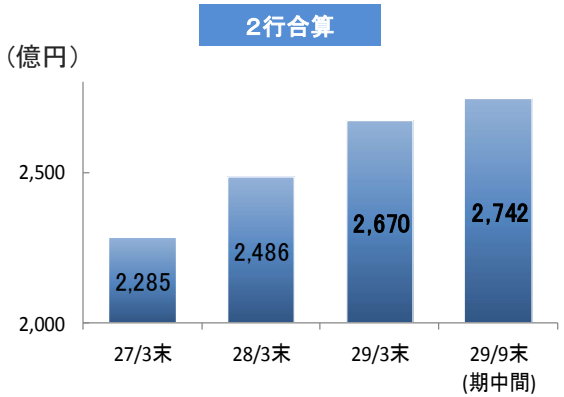
◆セミナーを活用したサポートの実践
→　専門家を招きセミナーを開催し、ソリューション営業を実現
◆販路拡大に向けたサポートの実践
→　融資のみではなく、販路拡大など企業の成長を促すサポート体制を構築

事例	内容
医療法人向けセミナー開催	• 病院経営コンサルタントを招き医療法人向けセミナーを開催し、取引先の深耕や、ソリューション提供による差別化を実践
クラウドファンディングを活用した取引先支援（29/10）	• 北陸銀行は、伝統産業の鋳物技術と、3Dプリンターなどの先端技術を融合させた企業へのサポートを実施
ほくぎん農業応援ローン取扱開始（29/5）	• 北陸銀行は、北陸３県および北海道の農業信用基金協会との連携による「ほくぎん農業応援ローン」の取扱を開始

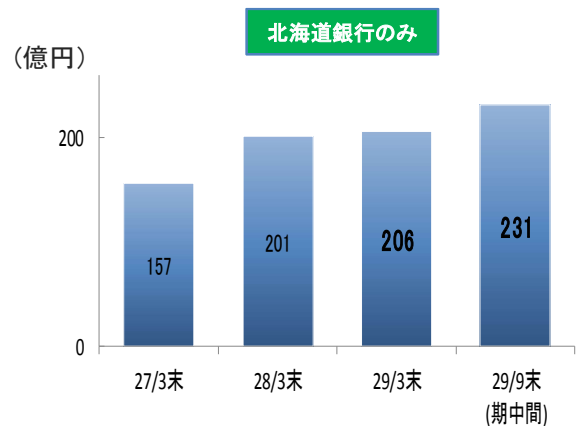


＜なまら十勝野の6次化・販路開拓支援＞
北海道銀行と包括業務提携を締結している農業ベンチャー企業「㈱農業総合研究所」と、芽室町で野菜等を栽培している生産者団体の「㈱なまら十勝野」への新たな販路開拓サポートを実施。

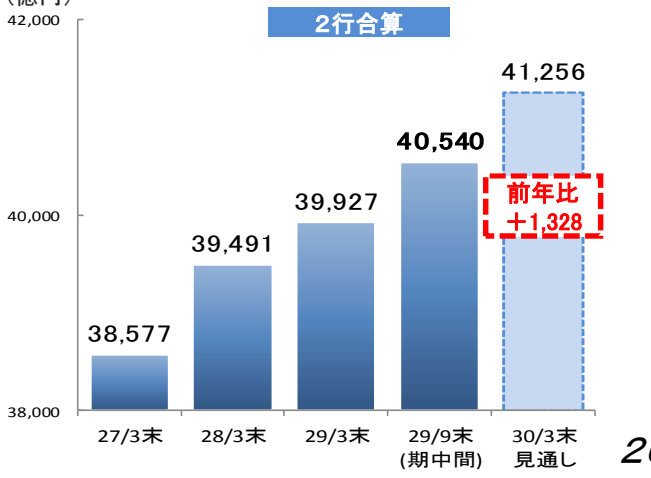
医療・福祉



アグリ



事業性貸出残高



海外戦略

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

北陸銀行、北海道銀行の海外拠点9か所を活用し、お取引先の海外進出や海外への販路拡大ニーズをサポートします。

方針・施策

◆海外駐在員事務所などを活用した海外進出支援
→　海外駐在員事務所や地域密着型総合商社との連携による情報発信
◆海外への販路拡大支援
→　商談会やインターネットの活用によりお取引先の販路拡大を支援

事例	内容
インターネットを活用した海外販路拡大（29/9）	• 北陸銀行は、世界最大級のBtoBマッチングサイト「アリババドットコム」を運営するアリババ㈱と業務提携し、お取引先の海外ビジネス展開のサポートを開始
海外駐在員事務所長帰国報告会（29/10）	• 北陸銀行バンコク駐在員事務所、北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所長を講師として、現地事情を紹介する報告会を開催
ロシアビジネスセミナー（29/9）	• ロシアの銀行支店長を2名招聘し、現地側からみた日本企業への期待やビジネスの可能性を紹介するセミナーを札幌で開催
インバウンド・プロダクツ2017（29/5）	• インバウンドの需要拡大に備え、受け入れ態勢強化の支援を目的とした商談会を札幌で開催。

＜海外で実施した商談会の例＞
タイ日系企業ビジネス交流会（29/5）、Mfairバンコク2017ものづくり商談会（29/6）、北海道レストランフェア（29/7）、遼寧省中日商談会（29/9）、大連-地方銀行合同ビジネス商談会（29/9）、FBC上海2017ものづくり商談会（29/9）、Food Japan　2017（29/10）



＜ロシアにアンテナショップを開設＞
29年5月、北海道銀行などが出資する地域密着型総合商社北海道総合商事㈱が、ロシア連邦ウラジオストク市にアンテナショップを開設。北海道産品の輸出拡大に貢献している。



＜アリババと共催でインターネットを活用した海外販路拡大セミナーを開催（29/11）＞



＜武漢市商務局との経済交流の覚書締結（29/9）＞



＜ロシアビジネスセミナー（29/9）＞



＜バンコク2017ものづくり商談会（29/6）＞

店舗戦略・業務効率化

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お客さまサービスの向上を図るため、新営業店端末やタブレット端末の機能を最大限に活用するとともに、営業店業務の本部集中を進め、効率的な業務運営に更に取り組みます。

方針・施策

◆新機能を最大限に活用し、お客さまサービスを向上
→　新営業店端末やタブレット端末の新機能を活用してサービス向上を図る
◆営業店後方事務の本部集中による効率化
→　営業店の後方事務の本部集中を進め、営業活動に専念できる体制づくり

店舗数

（店）

北陸銀行	29/9末	増減数	26/3末
店舗数	187	△ 1	188
店舗内店舗	13	12	1
バーチャル店舗等	5	△ 2	7
実店舗数	169	△ 11	180

※北陸銀行は29/11～30/2に新たに4店舗を店舗内店舗に移行予定

（店）

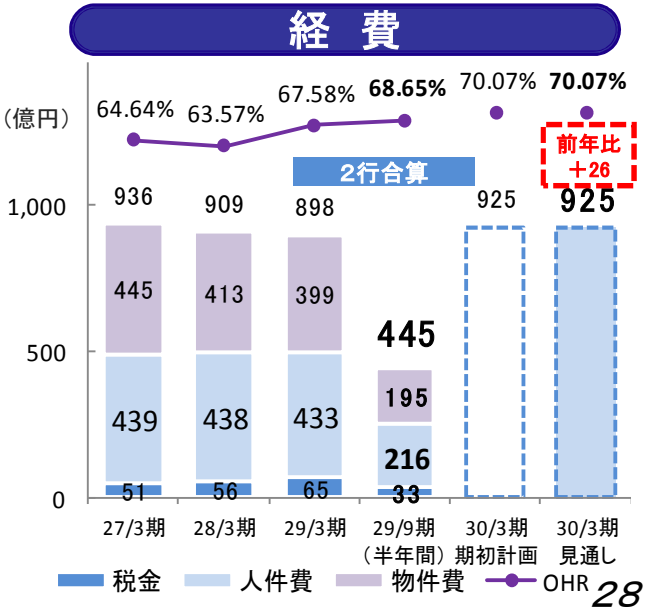
北海道銀行	29/9末	増減数	26/3末
店舗数	142	1	141
店舗内店舗	4	－	4
バーチャル店舗等	6	－	6
実店舗数	132	1	131

※北海道銀行の実店舗にはミニマム運営体制16店舗（29/9末）を含む

事例	内容
タブレット端末の活用（29/5～6）	• タブレット端末を活用した投資信託の販売を開始（投信ペーパーレス化）。今後、渉外活動におけるペーパーレス業務の拡大を図る予定。
営業店端末更改によるサービス向上、業務効率化（29/6より端末を移行中）	• 新営業店端末への更改を順次進めており、事務集約化機能やペーパーレス機能を活用して、業務効率化を進める方針。また、伝票の自動作成機能等を備えた「お客さまディスプレイ」の活用により、お客さまの窓口での手続き負担軽減を図る。
ミニマム運営体制の実施（26/4～）	• 北海道銀行は、営業店業務の本部集中により、地方拠点16店舗において、最低限のコスト、人員体制での店舗運営を実現。（支店長、役席各1名体制）
相続サポートセンター（29/7）	• 北陸銀行は、29年7月に相続事務手続きの専門部署である「相続サポートセンター」を設置。対象店舗を今後拡大予定。
コールセンター設置（29/10）	• 北陸銀行は、29年10月にコールセンターを設置。本部各部署のフリーダイヤルを集約したほか、EBM情報に基づくアウトバウンドコールを実施し、お客さまサポートを充実させる方針。



＜まちかどATMのサービス開始＞
北陸銀行は、「まちかどATM」のサービスを29年9月に開始。りそな銀行と共同で北陸3県の様々な店舗や施設に小型ATMを設置を進めていく予定。



ＦｉｎＴｅｃｈへの取り組み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

FinTech技術を活用しお客さまサービスの向上につなげるとともに、人工知能（AI）による分析で得られた情報を活用し、営業活動の効率化、充実を図ります。

方針・施策

◆FinTechを活用したお客さまサービスの向上
→　ロボアドバイザーなどFinTechの活用によりニーズに応じた情報提供を図る
◆人工知能（AI）技術を活用し、営業情報の更なる活用を
→　AIによる深度ある分析を踏まえ、営業情報の更なる活用方法を追求する

事例	内容
ロボアドバイザーによる投信相談開始（29/7）	• 北陸銀行は、29年7月にホームページ上でロボアドバイザー「投信ロボアドバイザーはてなくん」のサービスを開始。北海道銀行でも28年5月にロボアドバイザー「ポートスター」を導入し、インターネットを通じて情報提供を図っている。
AIを活用したマーケティング実証実験開始（29/5）	• 北陸銀行は、AIを活用したマーケティング手法高度化への取組に向けてゼネリックソリューション㈱と協同で実証実験を開始。
AIを活用した文書データ解析の実証実験開始（29/8）	• 北陸銀行は、AIを活用した文書データ利用高度化に向けて㈱FRONTEO、㈱電通国際情報サービスと協同で実証実験を開始。
ブロックチェーン北海道イノベーションプログラムへの参画（29/5）	• 北海道銀行は、ブロックチェーン技術において㈱INDETAILと協業を開始。同社が牽引する「ブロックチェーン北海道イノベーションプログラム」に協力し、ITによる北海道経済の発展に寄与する方針。
ＴＫＣモニタリングサービス	• 税理士であるＴＫＣ会員と財務データを共有し、お取引先にタイムリーにアドバイスするサービスを北海道銀行（29/4）、北陸銀行（29/5）が開始
クラウド会計freeeとの連携（29/6）	• 北海道銀行は、創業者向けに主催している「創業支援塾」において、「クラウド会計ソフトfreee」を題材としたセミナーを実施。

＜金融イノベーション推進委員会＞
FinTechを活用したビジネスモデルの構築方針の立案や開発計画の策定について検討する機関として、北陸銀行、北海道銀行では「金融イノベーション推進委員会」を設置し、協議を進めている。また、北陸銀行では、29年6月にFinTechを含めた法人・個人取引機能全般に関するIT戦略の企画・推進をする「IT企画部」を新設している。



＜ビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2017」＞
北海道銀行は、ICT（情報通信技術）を活用した独自性・新規性を有する様々なサービスが誕生していることに着目し、業界・業種を横断した新しいサービス、ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテストをふくおかフィナンシャルグループ、沖縄銀行と共同開催する。
※写真は前年度の「X-Tech Innovation 2016」の様子



＜投信ロボアドバイザーはてなくん（29/7）＞

人材育成

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

地域ナンバーワンの金融サービスを提供するため、金融機関に求められる各種知識の習得をサポートする体制を構築しています。

方針・施策

◆知識習得によるレベルアップで、お客さまへのサービス向上
→　コンサル営業に求められる知識の習得に努め、サービス向上を図る
◆働きやすい職場づくりを行い、企業の持続的な成長を実現
→　従業員の健康を守るための職場づくりに継続して取り組む

事例	内容
ＦＰ上級トレイニーを開催（29/7）	• 北陸銀行は、29年7月にＦＰ1級合格を目指す「ＦＰ上級トレイニー」を開催。24名が研修に参加した。
道銀相続アドバイザー	• 北海道銀行における行内認定制度として「道銀相続アドバイザー」を制度化し、2級ＦＰまたは相続アドバイザー3級保有者を相続提案スキル習得の研修会に参加させ認定。
自宅学習システムの活用（29/7）	• 北海道銀行は、29年7月に自宅学習システムの運用を開始。北陸銀行もe-ラーニングによる学習システムを導入し、スキルアップを図っている。
テレワークの試行（29/9～30/3）	• 北陸銀行は、働き方改革の新たな取り組みとして、勤務形態の弾力化を図る観点から、テレワーク（在宅勤務）制度の試行を実施。
健康経営宣言の実施（29/8）	• 北陸銀行は、創業140周年を迎えるにあたり「健康経営宣言」を制定し、従業員の健康保持・増進に努めることを宣言した。



＜FP上級トレイニー（29/7）＞

『 健康経営宣言 』 ～北陸銀行

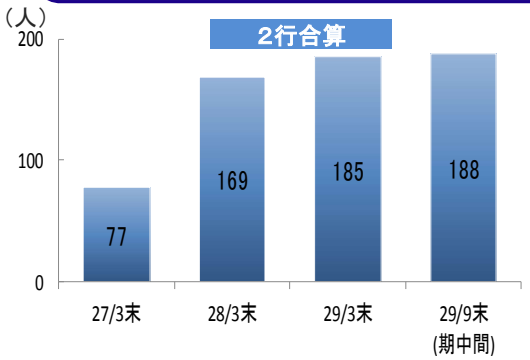
北陸銀行では、従業員の心身の健康保持・増進は将来の発展を支える基盤と考え、会社と健康保険組合が一体となって、従業員およびその家族の心と身体の健康保持・増進に向けた取り組みを積極的にサポートします。また、健全な金融サービスの提供等を通じて、健康で活気に満ちた地域づくりにも貢献してまいります。



＜女性活躍推進「えるぼし（★★）」認定の取得＞

北陸銀行は、29年9月、女性活躍推進法に基づく基準適合事業主として、北陸3県の金融機関としては初めて、厚生労働大臣より「えるぼし（2段階目）」の認定を受けた。また、同行は28年7月に次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん」も富山県内企業で初めて認定されている。

女性経営職・管理職数



ＥＳＧへの取り組み（環境への取り組み）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

ほくほくフィナンシャルグループは、環境に配慮した企業活動を行うお取引先に対するサポートや、ペーパーレス化を進めているほか、地域での清掃活動や植樹活動にも積極的に取り組んでいます。

方針・施策

◆環境配慮型企業への金融支援
→　環境に配慮した企業活動を行うお取引先に金利優遇などのサポートを実施
◆銀行活動において発生するペーパーの削減
→　満期案内等の郵送物廃止や、投資信託申込書類等のペーパーレス化

事例	内容
エコ私募債	• 環境に配慮した活動を行う企業を対象とした私募債で、通常の私募債より発行条件を優遇。
環境評価融資「エコリード・マスター」	• 環境配慮型経営を行うお客さま向けの融資で、北陸銀行における環境評価格付に応じて金利を優遇する商品。
エコリフォーム	• オール電化、太陽光発電など一定の条件を満たした環境配慮型のリフォームをするお客さまに対し、金利を優遇する商品を取り扱い。
ペーパーレス化の推進（29/5）	• 従来書面にてお客さまに郵送していた定期預金の満期案内や投資信託取引残高報告書等の書類をインターネット上での閲覧に切り替え。
植樹活動例（29/4）	• 富山県南砺市が取り組む「桜ヶ池エコビレッジ桜満開プロジェクト」に平成29年度の新入行員を中心に北陸銀行職員62人が参加し、地域の皆様とゴミ拾いをした後、ソメイヨシノの苗木を植樹。



＜おもてなし一斉清掃＞

『 環境行動指針 』 ～北海道銀行

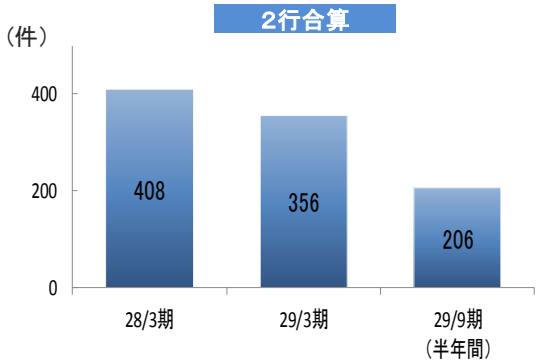
1. 環境に関する法規を遵守し、環境に配慮した地域活動を行います。
2. 役職員全員の環境保全に対する意識を高め、営業活動、日々の生活における環境負荷の低減に努めます。
3. 地域社会に対し、環境保全・環境改善につながる金融商品・サービスの提案を行います。





＜ユジノサハリンスクの農業法人への栽培技術支援＞
29年5月、新篠津村つちから農業㈱とチプリーチニー社（サハリン農業法人）が、北海道銀行のサポートによりコンサルティング契約を締結。サハリン現地でのタマネギ栽培協力、技術指導や人材育成を進め、ロシアでの収穫量増加につなげていく。

エコ私募債取扱件数



ＥＳＧへの取り組み（地域社会への取り組み）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

ほくほくフィナンシャルグループは、本業支援などの金融仲介機能を発揮するため、グループの持つ幅広いネットワークを最大限に活用し、地域活性化に取り組んでいます。

方針・施策

◆地域のお取引先の支援を積極的に行い、地域活性化に貢献
→　ビジネスコンテストによる事業創出や販路拡大などの支援を実施
◆地域のイベントに積極的に参加し、地域活性化に貢献
→　地域行事への参加、芸術文化への支援により、社会貢献活動を推進

事例	内容
ビジネスコンテスト開催（29/6～）	• 北陸銀行では「ミライイノベーション北陸」を開催。北海道銀行では前年に続きICT（情報通信技術）を活用したビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2017」を開催。
寄贈型ＣＳＲ私募債の取扱開始（29/4）	• 北陸銀行では、29年4月より地域社会への貢献を目的として「＜ほくぎん＞寄贈型CSR私募債」の取扱を開始。私募債発行企業から受け取る手数料の一部で教育に関する物品を購入し、教育機関等への寄贈を行っている。
「Matching HUB Otaru 2017」開催（29/9）	• 北海道銀行は、小樽商科大学、北陸先端科学技術大学院大学、北海道経済産業局、北陸銀行と共同で、大学・高専等と企業等とのマッチングイベントを開催。北海道の活性化を目指した新産業創出と人材育成に貢献。


＜富山マラソン応援＞


＜どうぎんカーリングクラシック＞



＜富山まつり＞



＜ビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸」＞
北陸銀行は、創業140周年プロジェクトの一環として、ビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸−New Design & Technology−」を開催。北陸の主要産業や地域社会の課題等をテーマに革新的・実用的なアイデアを募り、表彰するもの。（29/6より募集開始）



＜国土交通省とのPPP協定（Ⅱ）パートナー就任＞
北海道銀行は、国土交通省との「PPP協定（Ⅱ）」パートナーに就任。社会資本整備のための資金調達等に関して、セミナー開催などにあたり国土交通省の支援を得て、自治体や事業者に役立つ情報の提供を行うことが可能となるもの。（29/4）

ＥＳＧへの取り組み（コーポレート・ガバナンス）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

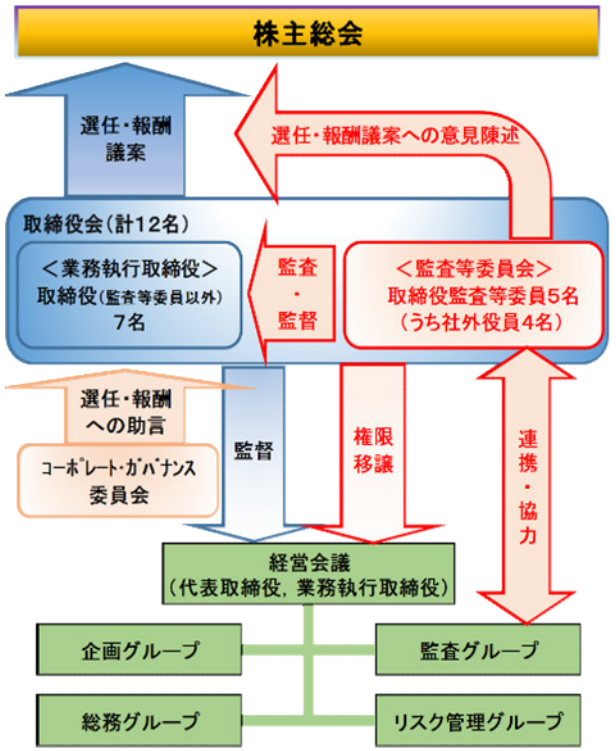
ほくほくフィナンシャルグループは、平成29年6月に「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行し、「コーポレート・ガバナンスの充実」によるグループとしての総合力強化に取り組んでいます。

方針・施策

◆グループとしてのコーポレート・ガバナンスの強化
→　監査等委員会設置会社への移行によりガバナンスの強化
→　社外取締役増員（２→４名）により外部・客観的な視点・意見を積極的に取入れ、企業経営に活用

事例	内容
監査等委員会 （29/6設置）	• 29年6月に監査等委員会設置会社に移行。社外役員4名全員を「取締役監査等委員」とし、ガバナンスを強化。
社外取締役 【取締役１２名中４名】 （29/6より）	• 様々な職歴・地域の方に就任頂き、外部・客観的な視点による様々な助言・意見を積極的に取入れ、企業経営に活用。 川田取締役：企業経営者（福井地区、繊維・製造業） 【セーレン株式会社代表取締役会長兼最高経営責任者】 中川取締役：弁護士（東京地区）　【元最高裁判所判事】 眞鍋取締役：企業経営者（北海道地区、医薬品・商社） 【株式会社ほくやく・竹山ホールディングス代表取締役社長】 鈴木取締役：企業経営者（東京地区、金融・生命保険） 【明治安田生命保険相互会社取締役会長代表執行役】
コーポレート・ガバナンス 委員会 （27/9設置）	• 当社グループ会社の持続的な成長及び長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社重要事項への適切な助言・関与等を実施。 【主な委員会の機能】 社外取締役間の情報交換・認識共有 代表取締役を中心とする取締役と社外取締役の情報交換・認識共有 取締役の人事・報酬等の特に重要な事項に関する助言

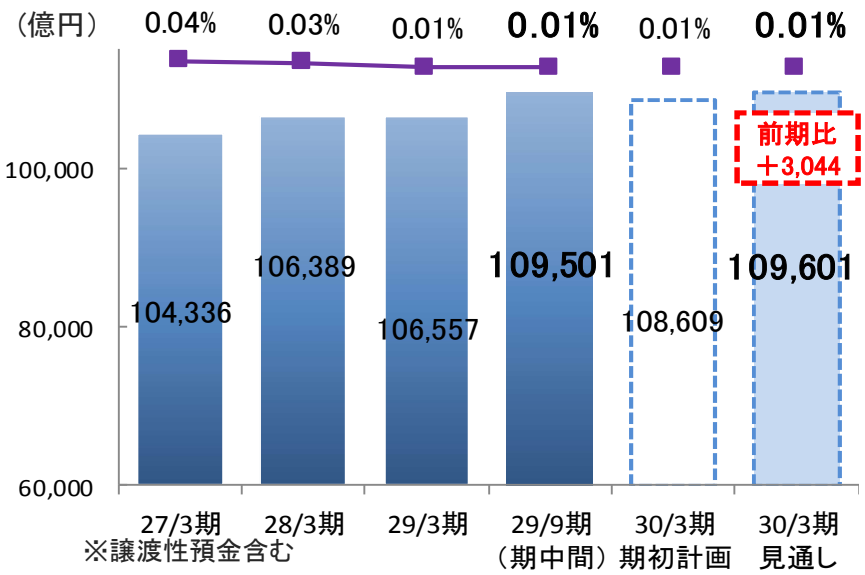
コーポレート・ガバナンス体制



預金・貸出金見通し

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

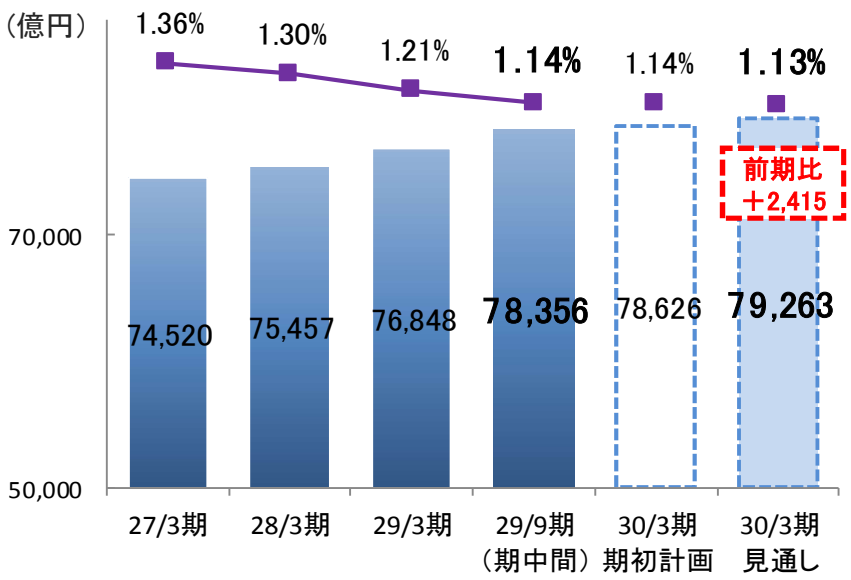
預金　平均残高・利回り



（億円）

【2行合算】	29/3期 実績	30/3期 見通し	前年比	期初 計画比
平均残高	106,557	**109,601**	3,044	992
利回り	0.01%	**0.01%**	−	−
支払利息	18	**14**	△ 3	△ 1

貸出金　平均残高・利回り



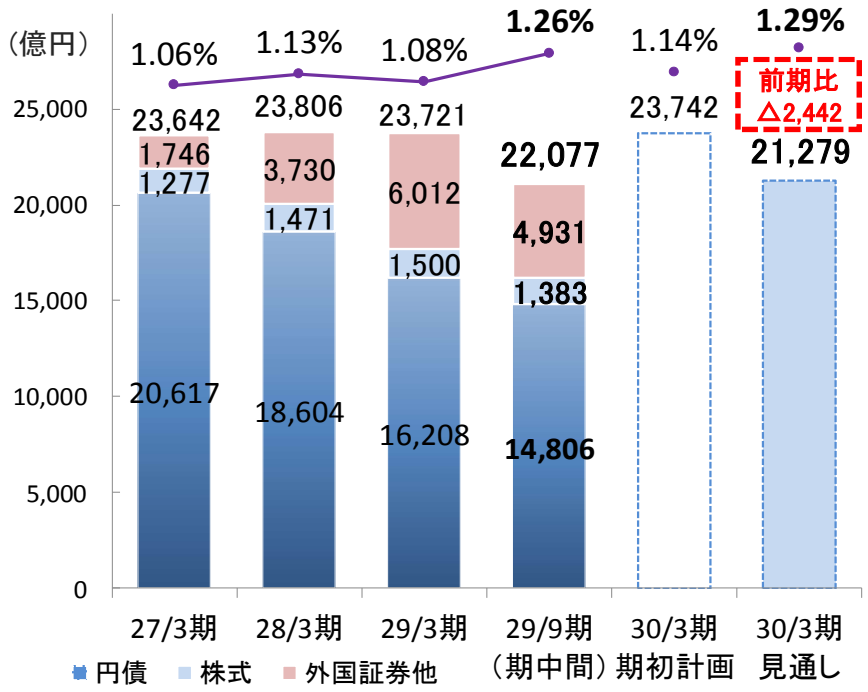
（億円）

【2行合算】	29/3期 実績	30/3期 見通し	前年比	期初 計画比
平均残高	76,848	**79,263**	2,415	636
利回り	1.21%	**1.13%**	△ 0.08%	−
受取利息	930	**900**	△ 30	1

有価証券運用

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

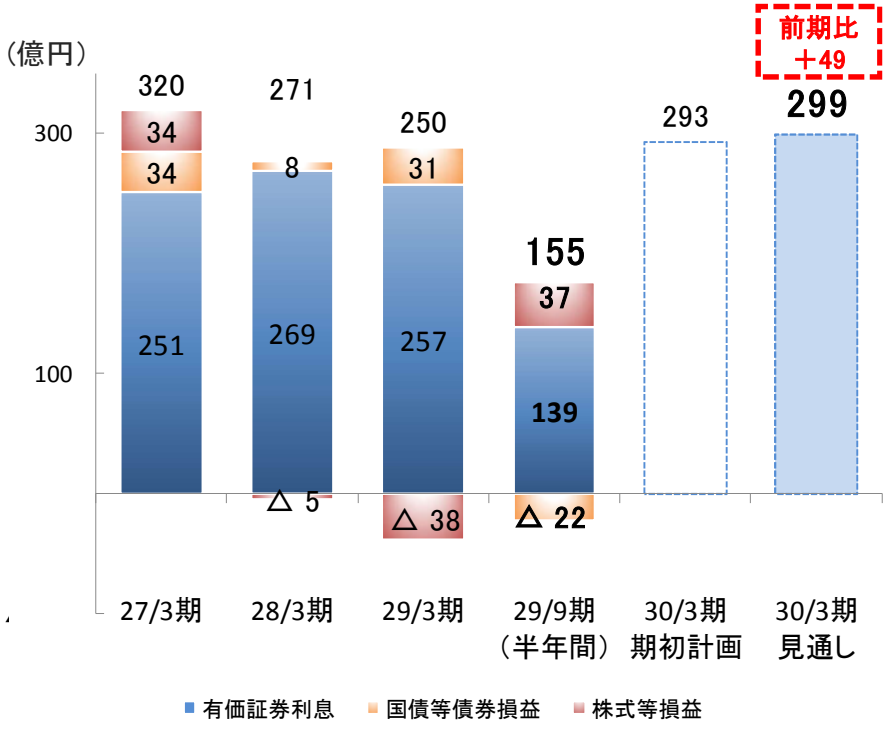
有価証券　平均残高・利回り



（億円）

【2行合算】	29/3期 実績	30/3期 見通し	前年比	期初 計画比
平均残高	23,721	**21,279**	△ 2,442	△ 2,463
利回り	1.08%	**1.29%**	0.21%	0.15%
受取利息	257	**275**	17	△ 44

有価証券関連収益



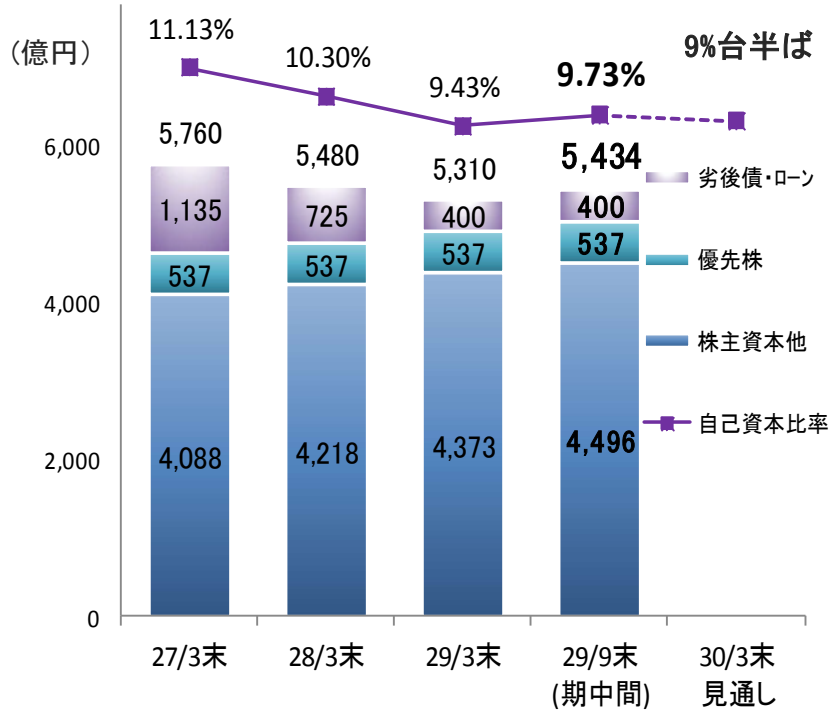
方針・施策

◆市場環境変化に柔軟に対応しつつ、債券と株式の投資バランスを意識し、利回り向上を図る
◆過度なリスクテイクを控え、金利上昇リスクに備えたポートフォリオ運用

資本政策・業績予想

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

資本政策方針・自己資本比率



＜ROE＞

25/3	26/3	27/3	28/3	29/3	29/9	30/3 (予想)
4.0%	5.8%	5.5%	5.3%	5.1%	**3.8%**	**4%後半**

平成30年3月期　通期業績予想

※　期初の業績予想から変更なし

＜FG連結＞

（億円）

	30/3期 業績予想	前年比
経常利益	355	△ 39
親会社株主に帰属する当期純利益	235	△ 46

（億円）	【2行合算】 業績予想	【2行合算】 前年比	【北陸銀行単体】 業績予想	【北陸銀行単体】 前年比	【北海道銀行単体】 業績予想	【北海道銀行単体】 前年比
コア業務粗利益	1,320	△ 9	705	△ 24	615	6
経費（△）	925	26	490	7	435	19
コア業務純益	395	△ 35	215	△ 32	180	△ 12
与信費用（△）	40	46	20	26	20	20
経常利益	360	△ 42	215	△ 33	145	△ 8
当期純利益	245	△ 51	145	△ 42	100	△ 9

平成30年3月期　配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	44円00銭	44円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

23/3～25/3期	26/3期	27/3～28/3期	29/3期	30/3期予想
37.50	40.00	42.50	44.00	44.00

- 平成28年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。（上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。）

中計項目見通し

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

中期経営計画 "BEST for the Region"（28年4月～31年3月）				
	29年3月期 実績	30年3月期 中間実績	30年3月期 通期見通し	31年3月期 計画
預金平均残高 （除く譲渡性預金）	10兆4,096億円	10兆7,375億円	10兆7,483億円	10兆5,600億円
貸出金平均残高	7兆6,848億円	7兆8,356億円	7兆9,263億円	7兆7,600億円
コア業務粗利益	1,329億円	648億円	1,320億円	1,345億円
経　費	898億円	445億円	925億円	930億円
コア業務純益	430億円	203億円	395億円	415億円
信用コスト	△6億円	23億円	40億円	60億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	281億円	111億円	235億円	230億円
連結自己資本比率	9.43%	9.73%	9%台半ば	9.55%
OHR （コア業務粗利ベース）	67.58%	68.65%	70.07%	69.14%

本件に係る照会先

株式会社　ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：大谷・宮崎）
TEL：076-423-7331
FAX：076-423-9545
E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp
http://www.hokuhoku-fg.co.jp/

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。